

リつめい

題字・末川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

立命館大学校友会報

NO.
241

2010
JULY



Brilliance
輝くひと

73

携帯カメラが生む拡張現実の世界
「セカイカメラ」を開発した頓智ドット(株)CEO
井口 尊仁さん(87文)

巻頭企画

校友会の
サークル活動を楽しむ

03 巻頭企画

校友会のサークル活動を 楽しむ



03

01 輝くひと

井口尊仁 さん

08 Ritsumei Interview

何のため? 誰のため?

大切なのは本質を見極める視点

株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所 代表取締役社長

改善士 横田尚哉 さん



08

12 都道府県校友会長を訪ねて

茨城県校友会会長 木村幸夫 さん

石川県校友会会長 加納 裕 さん

14 オール立命館校友大会 IN 福岡のご案内

16 立命館大学ホームカミングデー

18 校友会幹事会報告

19 校友会奨学金授与式が開かれました

20 校友News

22 校友会ネットワーク

23 立命館のゼミナール訪問

24 学生のスポーツ&イベント

26 キャンパストピックス

29 +Rな人

納谷由美子 さん

30 INFORMATION

31 編集室から



16



24



29


 「セカイカメラ」を開発した頓智ドット(株) CEO
 井口尊仁さん(87文)

携帯カメラが生む拡張現実の世界

井口さんが手にしているのは「セカイカメラ」を起動した携帯電話「iPhone」。セカイカメラとは頓智ドット社が無償提供しているiPhone対応の拡張現実ソフトウェアだ。昨年9月に提供が始まるや、わずか4日間で10万ダウンロードを記録したほか、今年3月には、国内の優秀なデジタルコンテンツの製作者を表彰する2009年度の「AMDアワード」で最高の大賞(総務大臣賞)を受賞。名前の通り、世界が注目するソフトとなった。

セカイカメラは、携帯カメラの画面越しに、他人が書いたコメントや写真を見ることができる機能を持つ。例えば、衣笠キャンパスに携帯カメラをかざして「末川博名誉総長」に関するコメントを残すと、画面に「エアタグ」と呼ばれるマンガの吹き出しのような文字情報や画像が浮かび上がり、別の使用者が同じ場所にカメラを向けてエアタグに指で触れると、この記されたコメントを見ることが可能になる、という仕組みだ。

「今この時、この場所に記憶を残す。そして誰でも同じ場所でセカイカメラをかざすと、その情報を見ることができる。伝えたい、知りたい、残したい、それを現実空間の中で実現したのが「セカイカメラ」です。いわば脳内を共有しているということ」。哲学者のように語る井口さんは文学部哲学科卒。論理学が大好きだった学生時代、徹夜明けにバイクツーリングに出掛け、帰宅後に夜通しパソコンプログラムに明け暮れる日々を送っていた。「哲学は人間の思考を掘り下げて共有できるのが基本概念。コンピュータに似ている」。パソコンについては、寮内の理工学部の友人から教示され、引き込まれていったという。

セカイカメラの発想はそんな学生時代に生まれた。例のごとく、徹夜明けのツーリングに出るため、寮のエントランスに置いていたバイクに乗ろうとした瞬間、カチッと頭の中で「スイッチ」が入ったという。「何か新しい視覚が手に入った様な、新しい思考回路がスタートしたような感じでした。その時、世界中の全てがプログラムで書けるのでは、コンピュータで再現可能なのでは、と。そういう直感が閃きました」。セカイカメラのエアタグはGPS(全地球測位システム)の位置情報を基準にしている。趣味のツーリングが井口さんの空間感覚や位置の概念を育んだのかもしれない。

井口さんは卒業後、コンピュータ会社での仕事をを経て、2008年に頓智ドット社を設立した。現在、セカイカメラはSoftBank「iPhone」に限った使用だが近々、auやdocomoの機種にも搭載され、大ブレイクが予測されている。しかし、採算にはほど遠いという。そのビジネス展開は世界を舞台にあらゆる分野、業種に可能性を持ち、主体、対象、方法も限らない。IT界の革命児は「福山龍馬」に似た魅力的な表情で「頓智とは困った時に出てくる急場の智恵。難題が起こらないと進化はない」と、龍馬のように野心を抱く。世界の「IGUCHI」の挑戦はこれからののだ。

Club Activities

散策

スポーツ

大学間交流

世代間交流

懇親

etc.

楽 活 サ 校 し 動 | 友 む を ル 会 の



校友会では様々なサークル活動が行われています。皆さんご存知でしょうか。

「校友会活動に参加したいけど、参加しづらいなあ」と思っている方、
そんなことはありません! 気軽に参加できる活動が盛りだくさんです。

ここでは、各都道府県校友会が繰り広げるサークル活動を一部紹介します。

興味のある活動がありましたらぜひ一度、参加してみてください。



千葉県校友会の ロングラン企画 「歴史地理探訪」

4月29日(祝)の朝、集合場所のJR総武線新検見川駅にぞくぞくと校友が集まってくる。楽しさに胸が踊るのか、その表情には笑顔が広がる。千葉県校友会が主催する「歴史地理探訪」だ。のんびり歩きながら千葉県内の歴史建造物やいわれのある地を散策している企画だが、スタートから22年続き、開催回数は通算37回を数える。近年は参加者が毎回40名を超えるなど、すっかり定着している。このイベントの人気の源を探ってみた。

歴史地理探訪は毎年、4月29日と11月3日の両祝日に実施。日本歴史地理学会を代表する理学博士・千葉大学名誉教授だった故山田安彦千葉県校友会初代会長の発案で始まった。参加者は老若



リーダーの岡本さん(左から3人目)が訪れた名所のエピソードについて話す

男女を問わず、千葉をはじめ、首都圏の他県の校友も参加している。この企画のリーダーである岡本榮郎さん(56法)は「気軽さが皆さんに受け

入れられていると思います」と話す。校友だけでなくその友人や家族、在学生の父母の姿も見られるなど、幅広い人が参加するのが一番の特徴だ。

この「のんびり」が功を奏す裏には、周到な計画と徹底した運営体制がある。単なる“遊び”の企画でないところも魅力の一つなのだ。岡本さんをはじめ、花輪貞男さん(59文)、末廣耕一さん(74文)の3名が約3ヶ月間、魅力あるコースの選定、散策時間など綿密な下調べ、当日の誘導体制などの準備に費やしている。こうした努力が実り、参加者は「毎回、新しい発見がある」「最後に皆で会食するのが楽しい」「知らない人でも気軽に話すことができるのが楽しい」と感想を述べるなど大満足の様子。大半がリピーターになるとともに、知人を誘うなど、参加者は少しずつ増えているという。

この日の参加者数は過去最高の50名。探訪先は「検見川から幕張へ史跡を訪ねて」と題して、千葉市西南部の花見川を挟んで検見川、幕張地区の史跡など計12ヶ所、7kmの道のりを約3時間



徹底した運営体制のもと、のんびりと散策する参加者

かけて歩いた。道中は参加者同士が気軽に声を掛け合いながら談笑。さらに、少しでも安全性が疑われる場所では、各ポイントに配置された運営係の方々が「車に気をつけて」「信号が赤に変わる前に渡りましょう」などと声を張り上げ、事故が起こらないよう誘導していた。

また、各名所では岡本さんがプロ顔負けの知識を持ってして、その地の歴史やエピソードについて語り、「千葉県民でありながらも知らないことが多く、勉強になる」と参加者が納得する場面も多数見られた。これで参加費が500円というからお得感も大きい。ゴール後の小宴会は午後2時頃から始まり、ビールを手にこの日歩いた道のりについての話で盛り上がっていた。これが目当ての参加者も少なくない。

この日の企画の参加者には、訪ねる先の説明資料と行程が前もって送られており、終わった後にはお礼の手紙と当日の記念写真も送られている。こうした気配りもリピーターにつながっているかもしれない。

千葉県校友会の山本良夫会長(62経済)は「校友会は総会だけでなく、気軽に参加できるサークル活動が大切だと思う」と話す。参加



4/29に参加した皆さん

愛媛県校友会の 関関同立交歓会

愛媛県では毎年2回、関西で学んだ愛媛在住者が交流を図る「関関同立交歓会」が開催され、愛媛県校友会からは松山支部を中心に、県内各地の校友が参加。出身大学対抗でボウリングやゴルフの真剣勝負を繰り広げている。

松山支部の校友が他の大学OBと知り合いだったことから2000年にスタート。参加者数は、春の「ボウリング&懇親会」ではおよそ40名(立命館校友10名)、秋のゴルフの後の懇親会には100名(同25名)が集まっている。参加者は他大学出身者との交流の中で「立命」へのアイデンティティを高めており、こうしたイベントをきっかけに、総会に参加する校友もいる。

この交歓会は、大学対抗で競いながらも親睦を深めており、仕事やプライベートの新たな交流の場になっている。中でも、懇親会では各校の校歌や応援歌を歌い、親しきながらもライバル意識を持ち

続けているところが特徴。真剣勝負ならではの良い緊張関係が築かれ、参加者も減ることなく、定番イベントとして、しっかりと根付いている。5月に開かれたボウリング大会では参加校友が各大学のプライドをかけて熱戦を展開。好プレー、珍プレーが続出した。その後の懇親会ではお酒を飲みながら終始、大学の垣根を越えた交流



ボウリング大会では大学対抗の真剣勝負を繰り広げている

が繰り広げられていた。

愛媛県校友会はもともと、東西に長い地理的特性、交通機関の未整備などの理由から、県内を8支部に分けている。そのため、支部単位の企画も多く、他支部の校友でも相互に参加することが可能。関関同立交歓会も松山支部主管の企画で、支部の企画が豊富なのが特徴だ。松山支部では、14年間続くビアパーティーも開いており、毎回20代から70代までの約25名が参加。女性が2割に達するなど、参加者の年齢と性別のバランスも保たれている。加えて、総会に参加できなかった校友の懇親のチャンスの場合にもなっており、気楽に集まって、おしゃべりすることで親睦が深まっている。

さらに、今治支部では22年前の支部創設以来「今治・東予地区大学校友会親善ソフトボール大会」に毎年参加。この大会は各地の20大学校友会が参加し、1校友会につき応援者も含めると40名が集まるという一大イベントだ。昼と夜の2部構成で、応援合戦が繰り広げられるなど大盛況。女性や高齢者を優遇する特別ルールがあるなど、誰もが参加しやすい大会で、参加校、および参加者も

年々増加している。しかも、全員が出身大学と同じデザインのユニフォームを着用してプレーすることに加えて、入場行進、開会式、選手宣誓も行われるなど、高校野球さながらの熱戦が展開されている。



西条支部のいも炊き会の様子

また、西条支部では毎年9月に風物詩である「いも炊き会」が開催されている。秋のいも炊きを校友同士で楽しもうという会で、テントを張った屋外の特設会場で、肩肘張らないざっくばらんな交流が繰り広げられている。このほか、宇摩支部では香川県校友会や地元の方々に協力いただきながら約200名規模での歓迎レセプションを開き、毎年硬式野球部の春季キャンプを支援。宇和島支部では4月に行われる「全日本大学選抜相撲宇和島大会」に校友が応援に駆けつけるなど、現役学生との交流も盛んに行っている。

鳥取県西部校友会のスポーツ交流

鳥取県西部校友会では、出身大学間の垣根を越えたスポーツ交流が盛んだ。「東西8大学OB」による野球大会を秋に、ゴルフ大会を春にそれぞれ開催。中でも、立命館大学の全国52都道府県校友会の中で、野球活動は非常に珍しい取り組みだ。関東や関西で大学生活を過ごして地元に戻ってきたOBたちの余暇の楽しみとともに、ビジネス交流の場にもなっている。

県西部の地域活性化と、各大学OBの交流と親睦を目的にしてい

る。この野球大会は1980年にスタートし、当初は慶応義塾、早稲田、同志社、立命館の4大学で始まり、その後、法政、関西、中央、関西学院の4大学が加わった。開催の経緯はユニークで、『鳥取県東西8大学OB野球大会20周年記念誌』によると「この発端は、立命館OB田村真康氏が同志社OB渡部鉦三



硬式野球部と同じデザインのユニフォームで大会に挑む鳥取県西部校友会の野球チーム

長野県校友会のゴルフ企画

長野県校友会はゴルフが盛んで、「大学同窓会親睦ゴルフ大会」や「信州ゴルフ立同戦」といった他大学出身者とのラウンドのほか、県内の各地区会では、ゲートボールのスティック(マレット)とボールを使用するミニゴルフ「マレットゴルフ」が行われるなど、幅広い世代の校友が「ゴルフ」で交流している。

長野県はマレットゴルフ発祥の地であるなど、比較的ゴルフが発達する土壌で、長野県校友会の6地区の校友会でもやはり、活発に行

われている。また、ゴルフをきっかけに、新たに県校友会総会に参加する校友もいるなど、校友会活動への“入り口”としての役割も果たしている。加えて、各地区会では高齢の方でも気軽に楽しめるマレットゴルフが年次総会の企画に組み込まれるなど、幅広い年齢層の校友に対する活動基盤が整っている。

5月に開催された「大学同窓会親睦ゴルフ大会」は、県内に住む



大学同窓会親睦ゴルフでは、コース内の立てられた各大学ののぼり旗が大会の雰囲気を出している

長崎県校友会の活発な若手交流

長崎県校友会では2009年から若手の校友会活動の参加者が増えている。これまで若手だけの集まりは全くなかったが、昨年3ヶ月に1度のペースで懇親会や交流イベントを開催。少しずつ若手の参加が増え、これまでの一桁人数から約20名にまで広がった。この現状には、先輩校友の財政支援も大きく影響している。



若手企画を運営する皆さん

同校友会の若手企画を運営する池田真樹さん('99経済)と村崎浩史さん('02経営)は「気軽に参加できることが大事。ゼミの飲み会みたいな雰囲気です。若手との会話を楽しみ先輩たちが多く、先輩のお話を若手が興味津々に聞く、という会になっています」と話す。08年11月の県校友会総会に参加していた若手に声をかけたのを機に、翌年の夏から若手校友懇親会を開催すると、口コミによる広がりもあって、参加者が増え始めた。

校友会活動の若手の参加促進は全国的な課題だが、長崎も例外ではない。それを危惧した長崎県校友会事務局長の山口孝司さん

幹事に同立戦を挑まれた。せっかくやるなら関東地区の早稲田と慶応の2校を誘って東西対決をしようと話が盛り上がり、早稲田と慶応のOB会に快諾をいただき、東西4大学OB野球大会が実現した」とある。以降、春にも何かやろうと、ゴルフ大会の開催へと発展した。

参加者はおよそ、野球が100名(立命館校友15名)、ゴルフが70名(同7名)。近年、野球は若い世代の参加も多く、選手層も厚みを増している。鳥取県西部校友会幹事長の大野木昭夫さん('76理工)は「野球大会は年々、若い校友の参加が増え、総会とはまた違った形のOB交流の場になっています」と話しており、校友会活動の底上げにもつな

がっているようだ。

スタートから30年が経ち、今では地元紙で大々的に広告を出すなど、地域で注目されるイベントへと成長、新聞記事や口コミによる参加者も増えている。さらに、野球の後は懇親会も開かれ、仕事の関係で既に知り合いの方々も多く、地元経済界の交流の場にもなっているという。



大会の後の懇親会では出身大学の垣根を越えた交流が繰り広げられる

各大学校友会(同窓会)同士の交流を促進することを目的にスタート。大会の状況がテレビに放映されるということもあって、各大学が精鋭チームを作って参戦するなど、例年盛り上がりを見せている。今年は19大学から30チーム、109名のOBが参加し、立命館校友は3チーム、12名で挑んだ。このほか「信州ゴルフ立同戦」も毎年10月に行われている。こうした他大学OBとの対戦は、新たな交流の場にもなっていると同時に、大会前には長野県校友会メンバーで打ち合わせや練習ラウンドを行うなど、校友会内でも団結力が高まる機会となっている。

長野県校友会幹事長の降幡信秀さん('77経営)は「ゴルフは年

代差を感じることなく、自然の中で一日かけて、ゆっくり交流が出来る良い機会だと思います。特に、昼食をとりながら学生時代の京都談義に花を咲かせるのはとても楽しい」と話している。当初は50、60代の参加が中心だったが、最近では30、40代も増えている。同校友会ではゴルフを目玉の活動として、さらに若手を引き付けようと意気込んでいる。



精鋭で挑んだ立命館校友チームの皆さん

('76産社)ら先輩校友は、池田さんらに若手向けイベントの開催を依頼。さらに、若手を気遣い、必要経費の負担を行うことにした。それ

もすべて、会の活性化に向けた先行投資で、この粋な心遣いがあった、会は底上げされ、長崎県校友会は活気づき始めている。「細く長く続く会にしていきたい」と池田さん。



新校友歓迎会のひとコマ

そのためにも安心して参加できる場所をめざしている。イベントを年4回開催することで、忙しい校友でも、いずれかの日程の企画に参加できるよう、配慮も忘れない。さらに「仕事で長崎に赴任したものの知り合いがいない人の“受け皿”になる場所にしたい」と村崎さんは話しており、友達感覚で付き合える場所もめざす。5月には長崎で初めて、新校友歓迎会が開かれ、00年以前卒9名、01～09年卒7名、新校友2名の計18名(このうち校友会活動初参加者は6名)が交流を深めた。今後も定期的にイベントを開催する方針で次回は今夏、長崎の風物詩でもある“納涼ビール電車”でのイベントを予定している。

都道府県校友会で定期的実施している主なサークル活動

校友会名	活動
北海道校友会	夏のビール会(年1回) / ゴルフ同好会(立同戦1回、関西6大学2回を含む年間計8回) / 木曜会(毎月第3木曜開催の懇親会)
秋田県校友会	秋田県中央地区・県南地区合同交流会、秋田県東北地区交流会(県域が広く年次総会に参加できない校友との交流を図ることを目的にした会、各年1回)
群馬県校友会	関西4大学交流会(旅企画やゴルフなど、年数回)
埼玉県校友会	歴史散歩など交流イベント(年数回)
千葉県校友会	歴史地理探訪(年2回) ゴルフ同好会(年1回)
千葉県校友会・千葉ブロック	ビール工場ウォーク(ビール工場を探検するイベント。年1回) / カラオケ忘年会(年1回)
千葉県校友会・幕南ブロック	散策イベント(年2回) 温泉忘年会(年1回)
千葉県校友会・東葛ブロック	朝の懇談会(様々な分野の講師による講演、毎月開催) / ゴルフ同好会(年4回) / 園遊同好会(年2回) / 遊歩会(年4回)
チームRitsちば(若手中心)	お花見(年1回) / その他、日帰り旅行やバーベキュー、ボウリングなど年数回
東京校友会	リッツレ(トレッキングサークル(2009年度は9回実施) / 江戸川花火鑑賞会(毎夏)

校友会名	活動
神奈川県校友会	散策イベント(年数回) / 座談会(年数回)
富山県校友会	関西6大学OB/OGゴルフ大会(年1回)
石川県川口県校	定期懇談会(偶数月の第3火曜)
富山・石川・福井の3県校友会	北陸3県校友会ゴルフ大会(年1回)
新潟県校友会	青年部主催の懇親会などの企画(年数回実施)
山梨県校友会	平成の会(若手親睦の会。年1回)
長野県校友会	長野県大学同窓会親睦ゴルフ大会、信州ゴルフ立同戦(各年1回)
長野県校友会・上伊那地区会	マレットゴルフ会
長野県校友会・中信地区会	マレットゴルフ会
静岡県校友会・富嶽会	夏季交流会(年1回)
静岡県校友会・駿府会	ビアパーティー(年1回)

校友会名	活動
大阪校友会	親睦ゴルフコンペ(年1回)
奈良県校友会	奈良県校友ゴルフコンペ(年4回)
兵庫県校友会	J-CLUB(主に20-40代対象の交流企画。年数回)
鳥取県西部校友会	東西8大学ゴルフ大会・野球大会(各年1回)
島根県校友会	立同ゴルフコンペ(年1回)
岡山県校友会	ゴルフコンペ(関西7大学懇親会など年2回開催)
広島県校友会	Rits広島ゴルフ同好会(関同立同コンペなど年2回開催) / メッセン広島お食事会(女性校友の会。年1回) / 大野実佐子をさく広島立命の会(年1回) / 立命館土業の会(土業の勉強会。2ヶ月に1回) / ゴルフ同好会(立同戦、関西6大学戦など年3回) / 居酒屋同好会(随時)
広島県東部校友会	親睦納涼会(温泉での懇親会)と親睦ハイキング(各年1回)
宇部小野田校友会	ARR(女性校友の会。随時)
徳島県校友会	ARR(女性校友の会。随時)

※各都道府県校友会の「2009年度活動報告書」に基づいた情報を掲載しています。

校友会名	活動
愛媛県校友会・松山支部	ビアパーティー&カラオケ大会(年1回) / 関同立同交流会(ゴルフ、ボウリング、懇親会で交流。年2回)
愛媛県校友会・今治支部	大学校友会親善ソフトボール大会(OB対抗。終了後は懇親会。年1回)
愛媛県校友会・西条支部	いもたき会(年1回)
福岡県校友会	ゴルフコンペ(関同立同戦など年1～2回)
大分県校友会	ゴルフコンペ(年1回)
長崎県校友会	若手校友懇親会(年4回ほど。)
熊本県校友会	3大学交流ゴルフ(年1回)
佐賀県校友会	立同戦ゴルフコンペ(年2～3回)

参加方法などお問い合わせは直接、各校友会にご連絡していただくか、校友会事務局(TEL 075-813-8216)までお願いします。
各校友会の連絡先は校友会ホームページ、および前号の校友会報(春号、240号)に掲載されています。

何のため？ 誰のため？ 大切なのは本質を見極める視点

株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所 代表取締役社長

横田尚哉 さん（'87理工）

改善士

ファンクショナル・アプローチとの 出会い

「ファンクショナル・アプローチ」(以下「ファンクショナル」)という発想技術を用いて、公共事業の無駄を洗い出し、本当に必要なものだけを造るよう改善する業界屈指のコンサルタント・横田尚哉さんは「何のため？ 誰のため？」を追求し、ファンクション（機能、役割）の視点で物事の本質を見極めるよう提案する。現在は建設のみならず、企業などの改善につながるよう、このアプローチを広めている。10年間で扱った公共事業の総額が1兆円にのぼり、縮減提案したコストの総額は2000億円超という実績を持つ人気のコンサルタント。ご自身で名付けた「改善士」として注目され、現在も全国から問い合わせが殺到している。人と同じことを嫌う“異端児”という横田さんは公共事業に加え、サラリーマン時代には慣例となっていた職場内のルールを改め、仕事の取り組み方を改善するなど、身近な所の「工夫」も忘れない。その原点には大学時代の経験も大きく影響しているという。

横田 どうして、私がこれだけの改善を導くことができたのでしょうか。それは「ファンクショナル」の原理を理解し、問題解決にその原理を活用したからです。この原理を使えば問題を見る視点が変わります。ビジネスや日常生活における皆さまの問題解決にもつながる手法です。

「ファンクショナル」は1947年に米国・GE（ゼネラル・エレクトリック）社で生まれました。このアプローチは、主に

技術分野で用いられている20世紀の三大技術の1つ「VE（バリュー・エンジニアリング=価値工学）」でも使われています。米国では広く活用されている手法ですが、日本では技術分野以外ではほとんど知られていないのが現状です。

このアプローチは至ってシンプルな手法です。電車に例えると、走る本数を単純に減らすと輸送力は低下しますが、少ない本数でも各駅停車と急行を組み合わせると、同じ本数でも輸送力は向上しますよね。山登りに例えても、多くの荷物を担いで山を登ると大幅に体力を消耗しますが、必要最小限にすると軽々と頂上へたどり着きます。公共事業も身軽になれば、多くの事業が進んでいくのです。そういった無駄をなくすため、役割や機能、すなわちファンクションを追求していくのがこの技術ですが私は大学卒業後、大手建設コンサルタント会社のパシフィックコンサルタンツ株式会社に入社、橋梁の設計を担当し、役所の方と徹底的に意見交換しながら、公共事業を改善に導いていました。

見えてしまった2020年の危機

ターニングポイントは2003年。「ファンクショナル」を広めようと動いていた矢先に、予想外の人事異動で経営部署での勤務となる。既に1997年には国が「公共工事コスト縮減対策に関する行動指針」を打ち出していたが、改めて自分の会社、公共事業、そして世の中の未来について考えて



みると「未来の危機的な状況が見えてしまった」といい、これを「2020年問題」と名づけた。住民に必要なものだけを造るよう、官公庁に働き掛けると次第に賛同の声が増え、現在「ファンクショナル」は各地域に広く浸透している。

横田 色々な橋を設計し、シビルエンジニア（土木技術者）として公共事業に携わっていましたが、その中で割り切れない気持ちになることがありました。「自分がやっていることは自然破壊なのか」と。そして、自分は環境を守る“エコ・シビルエンジニア”となり、1996年から単独で活動を始めました。

橋の設計は、担当する技術者によって変わるものなので、それなら私が設計するものは、限りなく自然に認めていただける範囲で造ろうと決めました。そして1997年に出合った「ファンクショナル」が公共事業に使えるツールだと確信し、これを極めようと幾度か米国を訪れて様々な事例を学び、自分なりにアレンジしました。

「2020年問題」は人口減少、生産人口減少、税収減、高齢者率増加、福祉増加の問題で、これを受け公共事業も減少していくでしょう。こうなると自社の仕事が減るだけでなく、

新しい公共事業自体がなくなります。加えて、東京五輪、新幹線開通、ダム建設ラッシュなど、高度経済成長期に数多くのコンクリート建造物が造られましたが、コンクリートの寿命は約50年、この“更新”のピークも2020年です。この状況では新しいものなど造ることができません。

技術者に求められるのは事業全体のコスト構造を分析し、評価することです。私はコストを“縮減”ではなく“改善”することに着目しました。この橋は何のために、誰のために必要なのだろう、見直せるなら見直しましょう、きちんと答えられる理由があるなら造りましょう、必要なものにお金をかけ、そうでないものは我慢しましょうよ、と。使命を持ってコスト削減を働き掛けましたよ。そうしないと、この国がもたなくなるのです。苦戦でしたが、説得を続ける中で、何とか1地域でモデルの事例ができました。そうなると急速に広がり、「ファンクショナル」はわずか3年で国内の50%の地域に普及するほど伸びていったのです。パシフィックコンサルタンツでは、新入社員研修で基礎スキルとして組み込まれるなど、社員全員がファンクショナル・アプローチを身に付けています。

日本の国力を高めるために

2010年3月にパシフィックコンサルタンツから独立し、株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所を設立。「30年後の子どもたちのために、輝く未来を残したい」のミッションのもと、日本の国力を高めるため、公共事業の改善のみならず、広く企業や人に「ファンクショナル」を使ってもらえるよう、働き掛けている。

横田 既に公共事業の分野ではこのアプローチが広がり、私は次のステップへ進みました。公共事業を改善する中で、それだけでは日本全体が変わることはないと思ったのです。企業が経済活動し、人が生活する社会だから、日本の国力を高めるために広く働き掛けようと決めました。私が2008年に出版した『ワンランク上の問題解決の技術』（出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン）は様々な人から反響があり、これは多くの人に働き掛ける必要があるツールだと確信しました。ならば、もっと広く企業に働きかけようと「ファンクショナル」の普及に特化した新しい会社を設立しました。

企業にはどんどん金儲けをしてほしいのです。ファンクショナルの視点を身に付けた社員がその会社で風土をつくと社内の人が変わり、そして企業自体が変わっていくのです。世の中には伸びていいのに伸び切れない、あるいは商品が売れているのに利益が出ない企業がありますが、その背景にはやはり、無駄なものがあります。そうした企業の経営改善につながるシステムを構築しています。金儲けして企業が伸びれば納税額も増え、そうしてGDPが上がれば、国力の向上にもつながりますよね。

遊び心を通じて育まれた発想が原点

立命館中学、高校、そして大学と10年間、同じ校歌を歌い続けた横田さん。大学時代は、学生にしかできない様々な



ことに挑戦した。ご自身のノルマとして身長(174cm)以上の単位を課すなど、遊びの要素を取り入れ、どんなことでも「楽しむ」のが信条。学業以外では徹底して世渡りを学ぶなど、見事に学業と遊びを両立していた。そういった「遊び心」は、子どもの頃の「道草、寄り道、回り道」の経験や、学生生活が大きく影響しているという。遊び心を通じて育まれた発想による問題解決の提案が「横田さんのファンクション」なのだ。

横田 子どもの頃は寄り道が好きで、ここから何でも遊びに変えようとする「力」が身に付いたと思います。冒険好きで、決められた道を進むのがとにかく嫌いでした。そんな人間だから会社のルールに従わないこともありました(笑)。しかし、

ルールはあくまで最低限決められたことであって、時には更新も必要だと思うのです。ルール違反は怒られますが、やってみれば面白いかもしれません。怒られることを恐れず、とにかくやってみることに意味があると思います。

会社では、社内で慣例化されていた土曜出勤に染まらないよう、自分のワークスタイルを貫き、それがモデルとなって同僚へと広がったこともあります。週休2日の会社に入ったというプライドがありましたから、納得いかない働き方には当然従いません。ただ、仕事を楽しみに変えるような工夫は、常に念頭に置いています。苦しんだら面白くないし、苦しいことでもやり方次第で楽しくなるのです。それも、少年時代の寄り道から培った「遊びの技術」が活着しているのかもしれない。

私は立命館が大好きです。あの自由な校風で育ったからこそ今の自分があると思います。当時は音楽バンドやバイクツーリングなど、何でも挑戦していましたね。楽しければ何でもよかった。老子の言葉で「上善如水」がありますが、私の人生はこんな感じかもしれません。周りの状況に応じて如何様にも形を変えられるのが、自分の長所だと思うのです。荒れる時もあれば、じっとエネルギーを貯える時もあり、常に世の中の下にいながらなくてはならないもの。そんな存在だと思います。

立命館には独自のカルチャーがあります。それを強いて言葉にするなら“人間臭い”人のつながりや信頼のようなものではないでしょうか。それは確立された「立命館のファンクション」だと思うのです。時代の流れとともに当然、キャンパスやロゴマークなどは変わらなければなりません、その魂だけは変わらずに受け継いでほしいですね。



Hisaya Yokota



- 1964年 京都に生まれる
- 1977年 立命館中学校 入学
- 1980年 同 卒業
- 立命館高校 入学
- 1983年 同 卒業
- 立命館大学工学部 入学
- 1987年 同 卒業
- パシフィックコンサルタンツ株式会社 入社
- 2010年 株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所 創業
現在に至る

■ 現在

株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所
代表取締役社長

CVS* (Certified Value Specialist、国際バリュー・スペシャリスト) の資格保有者。

*VE (バリュー・エンジニアリング) に関連する資格で最も困難とされるこの資格は世界で約900名、日本ではわずか123名(2010年1月現在)の登録者しかいない。VEコンサルタントを行う上で求められるスキル、経験、知識が豊富にあり、倫理的にもその称号にふさわしい者に与えられる。

茨城県

茨城県校友会会長

木村 幸夫さん（'62理工）
1995年11月就任

立命館大学への進学を決めた きっかけを教えてください。

木村●山口県岩国市で育った少年時代、京都の大学で学びたいという気持ちがあり、高校の先生にも勧められ、立命館を選びました。学生時代は比較的、真面目な学生だったと思います。「取れる科目は全部取る!」という気概を持って学んでいました。当時は60年安保闘争の関係で、授業の時間が妨げられることもあったのですが、その時の教員の対応は素晴らしかった。授業時間が減った分を昼休みに延長してくれるなど、学生のことを考えてくれたことに感謝しています。

校舎は木造2階建て。暖房は石炭で炊く「ダルマストーブ」でした。毎日、教室に一番



教室のダルマストーブ近くで写真に納まる
木村会長（後列左）と友人たち

乗り。早く行けば本を読めたり、友人と話せるなどの色々な得があったのです。気付けば、冬は私が教室のストーブを炊く当番になり、この“技術”が上達しましたね（笑）。当時の下宿先のご主人は板金工事店を営んでおり、夏休みにアルバイトをさせていただいたこともあります。ダルマストーブの煙突や雨どいを作ったり、設置したりしていましたよ。

今でも心に残るのは円山公園で行われていた野球の「立同戦」の前夜祭。ロマンがあり、仲間とともによく寮歌を歌っていましたね。

茨城県校友会について教えてください。

木村●卒業後、日立製作所に入社しました。当時は「箱根の山は越えない」と言われ、関西の大学生が関東で就職するのは珍しいことでした。私は1992年に茨城県校友会が設立されたのを機に、53歳から校友会に参加するようになりました。異業種交流の場として校友会は最適だと思います。校友会のよさは年を取るにつれて分かってくるものではないでしょうか。「同じ釜の飯を食った者同士の安心感」は、他では味わえないものだと思うのです。

また、12月につくば市で開催される「全日本大学女子選抜駅伝」の応援には毎年、力を入れています。沿道に立命館大学ののぼり旗を立てて声援を送り、レース終了後は激励会を開催しています。その原動力は「立命館を応援したい」という思いです。熱心な校友10人ほどで企画・運営していますが、2009年は約70人の校友、父母、陸上競技部OB・OGが集まるなど、年々楽しみにしてくれる人が増



女子駅伝のスタート前、士気を高める「大応援団」

えています。

どのような校友会をめざしていますか。

木村●課題の一つに若者の参加者が少ないことが挙げられます。まだ「同窓生」という気分にはならないのでしょうか。このキーワードは年配になって、初めて意識するものなのでしょうね。地理的問題や会場の問題も挙げられます。県内は交通の便が悪い所が多く、また総会・懇親会にふさわしい場所が意外に少ないのが現状です。そのため、どうしてもつくば市か水戸市での開催となってしまいます。

そんな状況でも参加してくれる人がいるので、運営する立場として精一杯サポートするよう努めています。出来る限り、年代を合わせたテーブル配置にし、各テーブルにコーディネーターとなる人を置くなど、交流を深めていただくことを大前提にしています。座席をフリーにしてしまうと、孤立してしまう人も出てしまうので、そうならないように意識しています。

今後の目標は、地理的な課題を踏まえて、ブロック化を推進することです。各ブロックの活動が活性すれば、会の底上げにもつながると思います。そして、次代を担う後継者も育成していきたい。少しずつ、そういった人材が育ってきているのも事実で、茨城県校友会にとって明るい兆しだと思います。

<http://alumni.ritsumei.jp/ibaraki/>

茨城県校友会

設立:1992年
会員数:約870名(2010年6月現在)
総会時期:例年秋、もしくは冬
総会参加者数:約30名



木村会長

都道府県
校友会長を
訪ねて

石川県

石川県校友会会長

加納 裕さん（'78産社）
2000年10月就任



バラエティーに富んだ企画で盛り上がる総会



石川県校友会では
若手校友の参加を待望している

石川県小松市で生まれ育った加納会長は、
京都での学生生活に憧れて
立命館を選ばれたのですよね。

加納 ● 母親の知り合いが京都・北白川に住んでいた縁もあり、京都で学びたい気持ちを強く持っていました。マイペースな性格ですから、ゆったりとしている京都は、学生生活には最適でした。

学生時代は辻勝次教授のプロゼミ（基礎演習）と、小林幸男教授のゼミが印象に残っています。中でも、小林先生とは飲みに行く機会も多く、ゼミ生で近くを散歩したことなど、たくさんの思い出があります。卒業後も「小林ゼミ校友会」に参加し、会長も務めました。先生がお亡くなりになるまでは、毎年7月に小林先生の誕生日をお祝いするゼミOB会に参加していました。

石川県校友会は頻繁に懇談会を
開いていらっしゃいますが。

加納 ● 「偶数月の第3火曜日」に、定期的に懇談会を実施しています。もう30年も続いています。他にも年次総会の準備会など、年間計10回ぐらいは集まっていますね。多い時で50名が参加することもありました。この会は長く幹事長を務められた大井一星前会長や児玉弘毅前幹事長が中心で、基本的には雑多な話で盛り上がる会です。80代から20代までの幅広い世代が集まり、飲んで楽しく話しています。

中でも、大井前会長は人付き合いや仕事に活かされるような知恵などについて、ユーモアたっぷりに話してくれます。非常に勉強になりますから、周囲の人たちも積極的に参加しています。

そんな大井前会長から会長職を受け継いだ

時、まだ47歳の“若造”でしたから驚きました。とにかく会員同士の「交友」を大切にしたいと思っています。

加納会長がめざす
石川県校友会の姿について教えてください。

加納 ● 私が校友会に参加したのは1986年からです。小林先生や川本八郎立命館顧問・前理事長から勧められたのがきっかけです。大学卒業後に経営コンサルタント会社で勤め、26歳で父親の会社・小松ウォール工業に入社し、当初は営業職に就いていましたが、若い頃は校友会の交流が仕事に活きていると日々、実感していました。

校友会は異業種交流の場でもありますから、若い人が親父のような世代の方との交友を深めることも珍しくありません。なかなか話す機会がないような役職に就く人も「校友」というだけで、気軽に話すことができるのです。そういった経験から、気後れすることなく営業活動ができたと思います。校友会の交流が仕事面で活かされ、自分の力になっていることは間違いありません。

だから、若い校友には積極的に先輩方との交流を楽しんでほしい。他では聞けない話や先輩との付き合いは必ず、皆さんの様々な面で活かされてきます。

石川県校友会では課題となっている女性や若手の参加者増加に向けて、試行を繰り返しています。その中で2010年は総会を夏、しかも土曜日の昼に開催することにしました。例年11月から12月に開催していましたから、今回は新たな挑戦です。色々なことを試して、校友会と女性や若手をつなげたい。そして、定期実施の懇談会にも参加してほしいですね。



加納会長

母校は教職員の「気迫」が実り、著しく発展しています。それに負けないう、私たちも気迫をもって、大学から期待される校友会づくりに取り組んでいます。吉田松陰は獄中で「かくすれば かくなるものと 知りながら やむにやまれぬ 大和魂」と詠みました。国が禁じているにもかかわらず、アメリカに行こうとした松陰には損得勘定では計れない気迫がありました。校友会の運営にも共通していると思うんですよね。

石川県校友会

設立: 1975年頃
会員数: 約2,500名 (2010年6月現在)
総会時期: 2010年は7月25日12:30より
「ANAクラウンプラザホテル金沢」にて開催
総会参加者数: 約100名



オール立命館校友大会2010 IN 福岡

第1部 **総会 13:00～13:35** (12:45頃よりオープニングアクト「小倉祇園太鼓」)

第2部 **特別講演&プレミアムトークセッション 13:40～15:20**

貴乃花親方出演決定!

Part 1: **特別講演 13:40～14:25**

「立命館の創始・変遷と成長」(仮)

講演者: 学校法人立命館百年史編纂室参与 吉田幸彦氏

Part 2: **プレミアムトークセッション 14:30～15:20**

「魅力ある人材を育てるために」(仮)

～今大学に、そして立命館に期待すること～

出演者: 日本相撲協会理事 貴乃花光司氏 ほか

※講演・トークセッションの内容・タイトルについて今後変更になる場合があります。

第3部 **レセプション 15:35～17:00**

グランド・ハイアット・福岡の美味しいお食事をお楽しみいただきながら、校友のばんばひろふみ氏によるミニライブ、琉球國祭り太鼓エイサー、立命館大学応援団の演舞などが繰り広げられます。



総会・レセプション参加費用 着席会場 8,000円※ 立食会場 4,000円※

※ご同伴のご家族の参加も可能です。ご年齢や参加形態によって費用が変わりますので、詳しくは下記お問合せおよびお申込み先までご連絡ください。

2010大会特別企画も多数実施します!

女性校友限定「アフタヌーンティーパーティー」 11:20～12:15 **参加無料!**

グランド・ハイアット・福岡のお茶、お菓子などとともに女性校友同士くつろぎの時間をお過ごしください。



立命館大学・APU学生団体出演イベントも同時開催予定!

グランド・ハイアット・福岡宴会場内では、茶道研究部による茶菓接待、囲碁研究部による対決企画、またキャナルシティ博多「サンプラザ・ステージ」では応援団チアリーダー部、ダブルダッチサークル「Dig Up Treasure」、APU演舞サークルのステージイベントなどが行われます。

企画の詳細は秋号(242号)で紹介します。

お問合せ

立命館大学校友会事務局 TEL.075-813-8216 FAX.075-813-8217 <http://alumni.ritsumeijp/>

立命館大学校友会

検索

10月30日(土) 13:00~17:00

主催／立命館大学校友会、福岡県校友会、北九州校友会、佐賀県校友会、長崎県校友会、
熊本県校友会、大分県校友会、宮崎県校友会、鹿児島県校友会、沖縄県校友会
共催／立命館大学、立命館アジア太平洋大学



オール立命館校友大会 2010 IN 福岡 開催記念 福岡 Yahoo! JAPAN ドーム団体観戦

「オール立命館校友大会 2010 IN 福岡」の開催を記念し、5月22日(土) 13時から、福岡Yahoo!JAPANドームにて、プロ野球セ・パ交流戦「ソフトバンクホークスvs広島カープ」の団体観戦企画が実施された。当日は福岡県校友会、北九州校友会をはじめ、九州各地から計30組、約70名が参加。今春卒業から70歳代までの幅広い世代の校友とその家族、友人らが熱い声援を送った。また、この日はドーム近くの会場で校友大会の「第6回実行委員会」も同時開催され、委員会終了後は実行委員会メンバーもドーム内の「スーパーボックス」にて観戦を行った。

団体観戦参加者は同ドーム6階にあるピュッフェ形式による食事付きの人気エリア「ピクトリーウイング」にて試合を観戦。福岡ソフトバンクホークスマーケティング(株)常勤監査役の森下良吉氏(71 経営)のご厚意で提供いただいたホークス応援グッズを手に皆笑顔。また、同企画に参加したことにより、卒業後15年ぶりに再会を果たした校友もあり、試合開始前から歓声がかましていた。ご当地ではアウェイであるものの、カープの赤松真人選手(04 産社)の登場場面では、ひとときわ盛り上がり、さらに7回裏のホークスの攻撃前には、実行委員会メンバー約30名がエンジの「R」の手旗を振りかざし応援する姿がドーム内のスクリーンに映し出され、立命館をアピールしていた。

企画に参加した今春卒業の今任佑希さん(10 文)と室井郁子さん(同)は「観客席に多くの校友の先輩がいて、母校を思い出すことができます」と笑顔。福岡県校友会幹事で、妻の理栄さん(87 産社)と2人のお子様とご来場していた久間康弘さん(88 産社)は「こうして博多で校友が一堂に集う企画が実現したことが嬉しい。福岡県校友会の発展にご尽力された故日下部茂元前会長(44 法)のことを思い出しました」と、感慨深げに話していた。

試合はホークスが7対4で快勝。悪天候のため、誠に残念ながら天井のオープンはやわなかったものの名物の「ドーム内花火」は実施され、参加者は皆、存分に観戦を堪能した。



● 今春卒業した室井さん(右端)と今任さん(右から2人目)ら、女性校友も多数参加していた



● 笑顔で観戦していた久間さんご一家

福岡 Yahoo! JAPAN ドームに校友大会の広告看板登場!

2010年4月より、福岡ヤフードーム内に校友大会の案内看板広告が設置されています。横長の広告で、エンジ地/白文字で「10月30日(土) キャナルシティ博多にて開催!」白地にエンジ文字で「オール立命館校友大会 2010」とそれぞれ表記されており、三塁側A指定席の上部エリアにあります。

今年の校友大会の福岡開催を記念したこの看板広告を見れば、福岡にいながらも母校を感じられますよ。必見です!



● ドーム内に設置された校友大会の看板



立命館大学ホームカミングデーが 6月6日に盛大に開催されました!

衣笠



6月6日(日) 10時から、衣笠キャンパスとBKC(びわこ・くさつキャンパス)にて「2010年度立命館大学ホームカミングデー」が盛大に開催された。校友をはじめ父母、学生、一般の方々が多数参加し、衣笠に7千名、BKCに6千名が来場。それぞれ思い出のキャンパスを堪能したほか、新しい立命館も体感していた。各キャンパスでは各学部、学科、研究科による企画や同窓会が行われたほか、校友の皆さまから多数ご提供いただいた豪華景品が当たる福引抽選会や過去のキャンパスを振り返る展示、サークル紹介などの「立命館のいま」を伝えるコーナー、家族で楽しめる企画が繰り広げられた。さらに、校友を含めた著名人による講演やトークセッション、ステージショーなども展開された。大盛況だった当日の様子を写真で振り返ってみる。



キャンパス内の各所に魅力あるブースが並び、あらゆる場所で盛り上がりを見せていた。



メインステージで行われた「グレーター福引「大抽選会」」で豪華景品が当たり、喜ぶ参加者。



オープニングでステージに上がる川口清史総長。

本学映像学部客員教授の山田洋次監督が映画に込める思いや、本学学生とともに製作した「京都太秦物語」などについて語った。



文化勲章受章者である故白川静本学名誉教授に関する展示の様子(上)。生誕100周年記念フォーラムでは、日本文化研究の第一人者である松岡正剛氏の講演も行われた(下)。



茂山狂言会による狂言舞台に続いて、大蔵流狂言師の茂山正邦氏、京都観光を総合プロデュースする(株)らくたび代表取締役の山村純也氏、ノンフィクション作家の杉野未矢さんの3校友が、京都の文化と観光をテーマにしたトークセッションを繰り広げた。



以学館の食堂では1965年頃に広小路キャンパス食堂で提供されていたメニューが再現され、多くの来場者がその懐かしい味を堪能していた。



立命館大学校友会「Anniversary Project」として、卒業10、20、30、40、50、60周年の方に記念品のデジタルフォトフレームが贈られた。



衣笠の都道府県校友会の出店ブースでは、各地の特色ある物産品などが並び、にぎわっていた(九州ブロックのほか、茨城県、栃木県、神奈川県、新潟県、福井県、静岡県、愛知県、京都、兵庫県、岡山県の各校友会が出店)。



女優の小林綾子さんと、古箏奏者の伍芳(ウー・ファン)さんのトーク&ライブでは、伍芳さんの演奏をバックに小林さんが詩を朗読し、会場をやさしい雰囲気包み込んでいた。



広小路キャンパスの大パネル展示やミニチュア模型も飾られ、来場者の興味を引いていた。



キャンパスガイドを務める学生の案内で、キャンパスを散策する参加者。



懐かしのキャンパスで記念撮影!



ふれあい広場では、学生サークル紹介が行われたほか、家族や子どもが楽しめる企画も繰り広げられた。



BKCでは東京、大阪、福井県の3校友会が出店し、会場を盛り上げた。



「白い巨塔」などの作品で知られる校友の脚本家・井上由美子さんのトークショーの様子。



千葉山貴公さん(右上) 大野実佐子さん(左上) 春ななみさん(右下) 中田雅史さん(左下)ら校友プロシンガーのオンステージが会場に熱気を送り込んでいた。



ポピュラーサイエンス誌の「未来を変える33人」に選ばれた、校友のロボットクリエイターの高橋智隆氏の講演とデモンストラーションは、来場者を引き付けていた。



「アメフト教室」では、本学アメフト部の選手たちがボールの投げ方やキャッチの仕方などについて、子どもに楽しく指導していた。



Jazz Clubの「Rush」のOBバンド「Old Rush」の演奏では、会場が一体になっていた。



総合理工学院の企画「研究室紹介」では、各教員の研究室が公開されたほか、最新の研究内容や成果の紹介などが行われた。



映像学部の細井浩一教授が中心となって、1965年夏の広小路キャンパスやその周辺の街並みを立体CG映像で再現した「バーチャル広小路」では、その懐かしさに歓喜する校友の姿も見られた。



伝説のカリスマディーラー藤巻健史氏が「私の職業人生をふりかえって。社会人に求められるもの」などをテーマに講演した。



学校法人立命館の川本八郎顧問・前理事長の特別講演では、実例を交えながら「大学改革」の軌跡について紹介された。



参加者で埋め尽くされたステージ前の観客席。



2010年度 校友会幹事会報告



6月5日(土)に朱雀キャンパスにて校友会三役会議、常任幹事会、幹事会を開催した。全国各地から、校友会三役(会長、副会長、監事)、常任幹事、幹事の約200名が参集した。幹事会は5階大講義室で開かれ、冒頭、長田豊臣理事長が2020年に向けた学園づくりなどについて話され「校友の皆さまの熱いご支援を受けながら前進しています」と締めくくられた後、山中諄校友会長が議長を務め、議事を進めた。

報告事項

- 三役会議、常任幹事会にて審議、承認された以下の事項につき、報告が行われた。
- ① **学校法人立命館評議員の推挙**
校友会推薦による評議員であった中川誠二氏の健康上の理由による辞任に伴い、新たに成瀬正氏を評議員に推薦した。
 - ② **2010年度立命館大学校友会新卒幹事**
2010年3月卒業の9氏(各学部からの推薦による)を、山中会長が指名・選任したことが報告された。
 - ③ **2010年度立命館大学校友会本部役員**
新たな委員体制となった3つの専門委員会について報告された。
 - ④ **「オール立命館校友会2010」実施案**
企画内容や準備状況などについて報告された。2010年は10月30日(土)に、福岡市博多区のキャナル・シティ博多内「グランド・ハイアット・福岡」にて、校友会史上初めとなる九州・沖縄地区での開催となる。
 - ⑤ **2011年度・2012年度校友会開催計画**
2011年度は10月29日(土)にホテルグランヴィア京都(京都市)で開催、2012年度は秋に新潟市内にて開催することが報告された。
 - ⑥ **2009年度立命館大学校友会事業報告・2010年度事業計画**
別表の通り報告があった。
 - ⑦ **2009年度立命館大学校友会決算・2010年度予算**
別表の通り報告があった。

審議事項

- ⑧ **「立命館大学校友会会則」一部改正**
第16条について、IT委員会と事業委員会が一定の役割を終え、IT委員会は広報委員会が、事業委員会は総務委員会がそれぞれ課題を引き継ぎ、2009年度末を以て発展的に改組されることになったことを受け、一部改正することが報告された(会則全文は校友会ホームページをご参照下さい)。
- ⑨ **「立命館大学校友会奨学金規程」一部改正**、⑩ **「立命館大学校友会私費外国人留学生奨学金規程」一部改正**
「立命館大学学生懲戒規程」の制定、および立命館大学の組織改編による機構・部課名変更に伴い「立命館大学校友会奨学金規程」「立命館大学校友会私費外国人留学生奨学金規程」を一部改正した。
- ⑪ **2010年度立命館大学校友会推薦校友の承認**
3名を承認した。

2009年度 決算

●収支決算書(2009年4月1日から2010年3月31日まで)

(収入の部) (単位:円)		(支出の部) (単位:円)	
科目	決算額	科目	決算額
会費収入	253,326,000	組織強化事業支出	53,469,409
資産運用収入	770,717	校友会事業支出	47,771,483
校友会事業収入	9,529,000	奨学金事業支出	17,898,578
広報事業収入	25,503,644	広報事業支出	71,129,313
その他の収入	6,544,376	人件費支出	27,520,997
繰入金収入*1	1,055,434,947	運営費支出	32,880,348
前年度繰越金	31,065,875	校友会基金積立金支出*2	1,075,434,947
合計	1,382,174,559	予備費	0
		次年度繰越金	56,069,484
		合計	1,382,174,559
*1 繰入金収入内訳		*2 校友会基金積立金支出内訳	
終身会費積立金会計繰入金収入	949,257,174	繰入金収入分	1,055,434,947
会館建設基金会計繰入金収入	74,184,468	2009年度積立金	20,000,000
名簿発行準備金会計繰入金収入	22,373,520	計	1,075,434,947
記念大会準備金会計繰入金収入	9,619,785		
計	1,055,434,947		

●貸借対照表(2010年3月31日現在)

(資産の部) (単位:円)		(負債・正味財産の部) (単位:円)	
科目	決算額	科目	決算額
現預金	56,105,484	預り金	36,000
基金積立金預金	965,434,947	校友会基金積立金*3	1,075,434,947
学園債	110,000,000	運用財産	56,069,484
合計	1,131,540,431	合計	1,131,540,431
		*3 校友会基金積立金内訳	
		基金積立金預金	965,434,947
		学園債	110,000,000
		計	1,075,434,947

2010年度 予算

●収支予算書(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

(収入の部) (単位:円)		(支出の部) (単位:円)	
科目	予算額	科目	予算額
会費収入	232,896,000	組織強化事業支出	85,980,000
資産運用収入	590,000	校友会事業支出	55,000,000
組織強化事業収入	1,000,000	奨学金事業支出	5,350,000
校友会事業収入	6,200,000	広報事業支出	73,359,000
広報事業収入	25,300,000	人件費支出	27,250,000
その他の収入	2,800,000	運営費支出	32,150,000
前年度繰越金	56,069,484	校友会基金積立金支出	20,000,000
合計	324,855,484	次年度繰越金	25,766,484
		合計	324,855,484

2009年度 立命館大学校友会事業報告

2009年度に立命館大学校友会が実施した、主要事業について、次の通り報告する。

組織強化事業

- 「全国都道府県校友会会長・事務局長・幹事会議」(1月16日)
グランドプリンスホテル京都において開催し、校友会活性化に向けた意見交換を行った。
- 「卒業50周年記念祝賀会」(2月19日)
京都ホテルオークラにおいて開催し、対象の1960年卒業の校友159名が集い、旧交を温めた。
- 「校友会入会記念品贈呈」(3月20日～22日)
2009年度立命館大学卒業式・大学院学位授与式において、立命館アイデンティティの醸成を図るため、校友会入会記念品としてPARKER製ボールペンを全卒業生に贈呈した。

校友会事業

- 「RITSUMEX'09 in 名古屋 オール立命館校友会2009」(9月26日～27日)
愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・東海4県校友会が主催で実行委員会を構成し、計6回の委員会を経て、愛知県名古屋市内において開催した。9月26日に名古屋栄・久屋大通公園もりの木広場にて開催した「プレイベント」には観客延べ5,300名、9月27日に名古屋国際会議場において開催した「総会・懇親会」「プレミアムトークショー」を中心とした本番当日には延べ4,500名が参加した。

奨学金事業

- 「立命館大学校友会留学生奨学金」給付(9月27日)
留学生30名に授与し、授与式を「オール立命館校友会2009」の総会・懇親会において開催した。
- 「立命館大学校友会会長賞・会長特別賞」給付(3月19日)
校友会会長賞9名、校友会会長特別賞7団体に授与し、授与式を朱雀キャンパスにおいて開催した。

広報事業

- 会報「りつめい」の発行
237号(6月20日)・238号(9月20日)・239号(12月20日)・240号(3月15日)を発行。
- IT機能の強化
ホームページの全面リニューアル、ストリートビューの設置(衣笠・BKC両キャンパスをインターネット上で散策できる機能)、都道府県校友会ホームページ設置促進等を実施した。

その他事業

- 各種会議・専門委員会の開催
各種会議(三役会議・常任幹事会・幹事会)、専門委員会(総務委員会・財務委員会・広報委員会・IT委員会・事業委員会)を開催した。
- 校友情報再整備の実施
校友情報の精緻化を目的として、「校友情報登録用紙」を会報「りつめい」239号に同封し、約21万人の会員へ送付した。結果、約18,000件が最新の校友情報として再整備された。

2010年度 立命館大学校友会事業計画

2010年度に立命館大学校友会が計画している主要事業は、次の通りである。

組織強化事業

- 「全国都道府県校友会会長・事務局長・幹事会議」2011年1月15日(土)開催予定
- 「卒業50周年記念祝賀会」2011年2月19日(土)開催予定
- 「校友会入会記念品贈呈」2011年3月19日(土)～21日(月・祝)予定
- 「2010年度立命館大学ホームカミングデー」への共催
2010年6月6日(日)に衣笠・BKC両キャンパスにおいて開催される「2010年度立命館大学ホームカミングデー」への共催を行う。また、同企画には校友会として卒業10・20・30・40・50・60周年の来賓を校友に対して記念品を贈呈する「アノバー・サー・プロジェクト」を展開する。

校友会事業

- 「オール立命館校友会2010」
2010年10月30日(土)に九州・沖縄の9県地区校友会が主催で、福岡市博多区のグランド・ハイアット・福岡において開催する。プレミアムトークショーや記念講演、立命館大学・APUの学生団体による「フォーマンス」など、九州文化を感じられる大会となるよう企画を進めている。

奨学金事業

- 「立命館大学校友会会長賞」給付 2011年3月18日(金)授与式開催予定
※2009年度まで実施した「立命館大学校友会留学生奨学金」ならびに「立命館大学校友会会長特別賞」の給付については、各種会議・専門委員会において審議を重ねた結果、運用の見直しを行うこととなった。そのため、2010年度においては実施しない。

広報事業

- 会報「りつめい」の発行
241号(6月下旬)・242号(9月下旬)・243号(12月下旬)・244号(3月中旬)に発行予定。
- IT機能の強化
ホームページの多言語化推進(日常的に更新されるページを除いた箇所についての英語表記)、モバイルコンテンツの展開(二次元バーコードの展開、住所変更を携帯電話からできるページの開設)を実施予定。

その他事業

- 各種会議・専門委員会の開催
各種会議(三役会議・常任幹事会・幹事会)、専門委員会(総務委員会・財務委員会・広報委員会)を適宜開催予定。

2010年度 新卒幹事

法学部	岩瀬 敬佐	産業社会学部	山本 静奈	文学部	井上 愛美
経済学部	北迫 俊明	国際関係学部	吉丸 尚宏	理工学部	南 扶友子
経営学部	新谷 夢	政策科学部	松山 誘秀	情報理工学部	沖田 侑也

校友会奨学金授与式が開かれました

校友会には「課外、および自主活動において、立命館大学の誇りとアイデンティティーを高めた個人、団体を表彰する制度」として校友会奨学金があります。2009年度はスポーツと学術・学芸の2部門において活躍した9名に「校友会長賞」、また優れた成果を収めた7つの課外活動団体に「校友会長特別賞」がそれぞれ贈られました。

3月19日（金）に朱雀キャンパスにて「2009年度校友会奨学金授与式」が「立命館大学課外・自主活動個人奨励金、団体助成金授与式」と併せて開かれました。校友会からは西村義行副会長が出席し、冒頭の挨拶で山中諄会長のメッセージを代読して「30万人の校友は皆さんの活躍と実績に強く励まされました。卒業後は校友会においても活発な交流を通して輝き続けてください」と、受賞者にエールを送っていました。

校友会長賞受賞者を代表し、女子陸上競技部の小島一恵さん（経営学部4回生=当時）が「これまで、校友の皆さまの励ましに支えられてきました。これからは後輩の励みになりたいです」と抱負を語るなど、受賞した学生、団体は今後のさらなる活躍を誓っていました。



●受賞一覧

校友会長賞受賞者		
植田 彩	法学部4回生	ホッケー部(女子)
小島 一恵	経営学部4回生	女子陸上競技部
島子 隆司	産業社会学部3回生	相撲部室
小林 大郁	経営学部2回生	スキー部
堀井江梨子	産業社会学部1回生	柔道部
渡辺 翔史	文学部4回生	バントワリング部
楠木 早紀	産業社会学部2回生	かるた会
橋本 香澄	産業社会学部2回生	応援団チアリーダー部
横山 大樹	産業社会学部1回生	将棋研究会

*回生は2010年3月現在

校友会長特別賞受賞団体	
カヌー部	かるた会
柔道部	dig up treasure
ホッケー部	バントワリング部
囲碁将棋部	



受賞団体ピックアップ

感謝の気持ちを忘れずに

この度は「校友会長特別賞」にお選びくださりまして本当にありがとうございました。私たち「dig up treasure (ディグ・アップ・トレジャー)」は、「ダブルタッチ」という、2本の縄跳びを使ってダンスやアクロバット等を行う競技のサークルです。

メンバーは20名で、結成9年目を迎えました。まだまだ世界的に知られていない競技ですので、地域の小学校での普及活動や、競技を広めるイベントの主催など様々に活動しています。忙しい日々ですが、サークルの方針として「学業とサークルの両立」を掲げているので、メンバーは充実した学生生活を送っています。

校友会主催のイベントに出演させていただく機会も多く、日ごろからの校友会の皆さまの支えは大変心強いです。2009年度は、サークル内のチーム「CANADA」が世界大会に出場し、準優勝を収めました。これも偏に皆さまのご支援があってこそその成果だと思っています。これからも皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、活動に邁進していきたいと思ひます。



2009年度新卒幹事懇談会が開かれました。

3月18日(木)に朱雀キャンパスにて校友会の「2009年度新卒幹事懇談会」が開かれた。卒業後、新校友の校友会活動への参画促進につなげようと、本年度より校友会副会長と各学部より選出される校友会新卒幹事候補者を交えた懇談会を実施した。

校友会からは村上健治副会長が出席し、集まった新社会人となる新卒幹事候補者(同日現在)と歓談を繰り広げ、「社会に出れば辛い事も楽しい事もある。就いた仕事に関わらず、最初の数年間は真剣に取り組み、没頭して欲しい。その時の成長や繋がりが後々の財産となり、人生を楽しくさせてくれる」と、エールを送っていた。新卒幹事候補者一同は、村上副会長の話に聞き入り、「卒業後は都道府県校友会のイベントにも積極的に参加してみたい」などと、校友会活動に対する前向きな意見を述べていた。

この後は、会場を移して総長主催の「卒業代表者懇談会」が行われ、新卒幹事候補者は学生同士の交流を深めたほか、村上副会長や川口清史総長をはじめ、学園役職者たちとも談笑していた。

新卒幹事候補者は6月6日(土)の幹事会にて、山中諄会長によって指名・選任されたことが報告された(新卒幹事一覧は18ページに掲載)。



■ 村上副会長(前列中央)と、新卒幹事の皆さん

総勢 18,000 名が来場! 2010年度立命館大学・大学院入学式が挙行されました。

4月1日(木)に、京セラドーム大阪で「2010年度立命館大学・大学院入学式」が挙行された。今年の新入生は学部7669名、大学



■ 入学式の様子

院1442名で、会場には新入生に加えて父母、校友、教職員、在校生を含む総勢約18,000名が来場した。校友会からは山中諄会長が出席した。

第一部の入学式典では川口清史総長が「ともに未来を創る人間になろう」と祝辞を述べ、第二部の新入生歓迎式典では、正課や留学、課外活動などで活躍する学生20人が登壇し、新入生にメッセージを送っていた。最後は参加者全員が「グレーター立命」を合唱し、出演した在学生から「立命館大学で未来を生みだす人になる」というエールが送られ幕を閉じた。

校友会ホームページにGoogleストリートビューが加わりました。

Googleストリートビューを用いて衣笠キャンパスとびわこ・くさつキャンパスを実際に歩いているような感覚でお楽しみいただけます。校友会ホームページのトップページ真ん中付近にある以下のパナーをクリックしてください。



第4回立命寄席が盛大に開催されました！

4月24日(土)に大阪市の天満天神繁昌亭で「第4回立命寄席」が開催された。この寄席は校友会の近畿ブロック文化事業で、立命館大学校友会も後援している。寄席には立命館大学落語研究会OBで、上方落語界で大活躍中の桂都丸、桂小春団治の両氏をご出演。渡邊申孝副会長・奈良県校友会会長をはじめ、近畿地区の校友ら200名が来場した。

寄席では両氏がそれぞれ卓越した芸をご披露。集まった観客からは大きな笑いの渦が巻き起こっていた。両氏のご配慮により、会場座席のえんじ色に合わせて、舞台上の座布団もえんじ色になり、さらに間奏ではグレーター立命と察歌の三味線バージョンが演奏されるなど、母校立命館を感じさせる粋な演出に溢れ、最後は盛大な拍手で閉幕となった。



■ 桂都丸さん



■ 会場入口付近の様子



■ 桂小春団治さん

各地で新校友歓迎イベントが開催されました！

5月中旬から6月下旬にかけて関西、東海、関東の3地区のほか、北海道、博多、北九州、長崎、熊本の5道県・地域にて、新校友歓迎イベントが開催された。それぞれの会場でバラエティーに富んだ企画が催され、先輩校友が新校友を温かく迎え入れるなど、世代を超えた交流を繰り広げていた。

このうち、関西新校友歓迎会では、新校友60名、20代校友60名、30代以上の校友30名の計150名が集まり、世代を超えた幅広い交流を展開。立命館校友にまつわるクイズや携帯メールを使ったゲームなどで終始、盛り上がりを見せていた。

■ 各歓迎会の開催日、参加人数、主催団体

日程	歓迎会名	参加人数	主催団体
5/15(土)	関西新校友歓迎会	150名	立命館大学校友会、近畿2府4県校友会(大阪、京都、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県)
5/15(土)	長崎県校友会歓迎会	18名	長崎県校友会
5/22(土)	立門会(立命館ウェルカムパーティー)	80名	福岡県校友会
5/29(土)	東海地区新校友歓迎会	130名	立命館大学校友会、東海4県校友会(愛知、三重、岐阜、静岡)
5/29(土)	関東新校友歓迎会	180名	立命館大学校友会、関東4都県校友会(東京、神奈川県、埼玉県、千葉県)
6/19(土)	熊本県校友会新歓コンパ	40名	熊本県校友会
6/19(土)	北九州校友会ウェルカムパーティー	50名	北九州校友会
6/26(土)	北海道校友会新人歓迎会	30名	北海道校友会

※5月末現在、事務局判明分のみ掲載しています。

携帯電話で簡単に住所変更できるようになりました!!

立命館大学校友会は住所変更携帯電話サイトを設けました。右記のマークを携帯電話で読み取っていただきますと簡単にアクセスできます。



2010年2月下旬(一部1月中旬)～6月上旬に行われた各団体の行事です(判明分)

詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumei.jp>

都道府県校友会

- ◆ 5/30 三重県校友会総会
(170名・プラザ洞津)
- ◆ 6/6 京都校友会総会
(78名・衣笠キャンパス末川記念会館)



三重県校友会総会

海外校友会

- ◆ 4/17 上海校友会総会
(30名・レストラン音)
- ◆ 4/15 台湾立命館校友の集い～川口総長来台歓迎会～
(60名・レストラン大三元)

地域校友会

- ◆ 3/6 愛知県校友会東三河支部総会
(60名・ホテルウェステージ豊橋)
- ◆ 3/28 亀岡校友会創立記念講演、立命館アピール市民のつどい
(50名・ガレリアかめおか)
- ◆ 4/29 西宮支部総会
(40名・西宮市民会館)
- ◆ 5/9 奈良県北部校友会(立命若草会)発足記念総会
(180名・ホテル日航奈良)
- ◆ 5/15 奈良県校友会天理わだつみ会総会
(44名・ウェルカムハウスコトブキ)
- ◆ 5/23 北摂校友会池田部会設立総会
(60名・池田市民文化会館)
- ◆ 6/6 駿府会交流会
(50名・クーボール会館)



愛知県校友会東三河支部総会



西宮支部総会



奈良県北部校友会(立命若草会)発足記念総会



奈良県校友会天理わだつみ会

職域校友会

- ◆ 2/26 朋命会総会
(15名・ホテルモントレ神戸)
- ◆ 4/14 東芝立命会新人歓迎会
(46名・東芝本社ビル2F食堂)
- ◆ 4/18 行政書士京都立命会恒例花見大会
- ◆ 5/21～22 八尾市役所「立八会」総会
(50名・有馬グランドホテル)
- ◆ 5/26 西宮市役所立朋会総会
(37名・パスタ工房)
- ◆ 5/27 Rits不動産ネットワーク定例会
(40名・京都タワーホテル)
- ◆ 6/2 高槻市役所槻立会総会
(46名・アンジェルテ・マリアージュ)



東芝立命会新人歓迎会



Rits不動産ネットワーク定例会

学部・学科校友会

- ◆ 6/5 法学部同窓会総会
(120名・京都ロイヤルホテル&スパ)

サークルOB・OG会

- ◆ 3/7 陸上競技部OB・OG定期総会
(BKCカラーニングハスなど)
- ◆ 4/24 美術研究部RUA OB・OG懇親会
(60名・アピカルイン京都)
- ◆ 5/22 立命館スポーツフェロー懇親会
(520名・京都全日空ホテル)
- ◆ 6/6 立命館大学学生法律相談部OB・OG会
(12名・衣笠キャンパス存心館)



美術研究部RUA懇親会



立命館スポーツフェロー懇親会

その他の会

- ◆ 1/16 昭和47年卒業二部山口ゼミクラス会
(9名・アヤハレークサイドホテル)
- ◆ 3/29 31会(昭和31年卒機械科有志)
(11名・澤乃家)
- ◆ 4/24 経営学部小沢道紀ゼミOB・OG会
(18名・キャンパスプラザ京都)
- ◆ 4/29 千葉県歴史地理探訪「検見川から幕張へ史跡を訪ねて」(50名)
- ◆ 5/20 昭和33年度卒化学科同期会
(18名・黄檗山萬福寺)
- ◆ 5/25 立命土木36会
(36名・TAWAWA)
- ◆ 5/29 ウリ同窓会総会
(56名・桃園亭)



昭和47年卒業二部山口ゼミクラス会



31会 昭和31年卒機械科有志



経営学部小沢道紀ゼミOB・OG会



昭和33年度卒化学科同期会



立命土木36会



ウリ同窓会総会

立命館のゼミナール訪問



BKC 山田ゼミ (経済学部)

山田ゼミ：経済学部 山田彌教授 ゼミテーマ：サービス経済の研究

山田ゼミのテーマは「サービス経済の研究」。ゼミ生たちは、観光やレジャー、医療・福祉など、広くサービス経済化に関連する問題について様々な研究をしています。山田教授のお話をうかがい、ゼミ取材しました。

Interview

サービス大国への変身がカギ

私は主に統計学の観点からサービス経済について研究しています。先進諸国と同様に日本経済もサービスの進展が著しいことはご周知の通りで、就業者やGDPで見ると、第3次産業が日本経済の7割を占めるようになりました。私たちの暮らしや地域経済もサービス化の流れの中にあり、国際的にもサービス分野が中心になりつつあります。英米などの斜陽工業大国はいずれも輸出型サービス産業の発展に基づくサービス大国へと変身することでサバイバルに成功してきました。工業大国日本もまた、変身に成功してサービス大国として再生していく必要があります。

サービスとモノづくりが高度に一体化する時代

輸出型サービス産業の国際競争力の基盤は、高度な知的、および技術的基礎に基づいた高付加価値型の経済力であって、このような分野はまさに先進経済諸国間の経済競争の主戦場でもあります。製造業とサービス業が双発のエンジンとなって発展することが日本の生き残る唯一の道といっても過言ではないでしょう。

いま先進国のモノづくりにとって、「いいモノを安く」で競争する時代は終わり、いかに革新的な製品・サービスを開発・提供できるかが勝負になっています。任天堂の「Wii」やアップル社の「ipod」などがその典型です。製品の斬新な使い方、あるいは新しいコンセプトが重要で、サービスとモノづくりの高度な一体化が求められる時代なのです。

これまでは日本人だけの閉じられたシステムが工業国家日本の成功のカギでさえあったかもしれません。しかし「国境なき経済」が展開される現代、サービス大国への道ではそうはいかない。世界中のヒト、モノ、カネ、情報を引きつける開放的で自由な魅力ある国、社会、そして

企業にしていくことが必須になるでしょう。ゼミでは、サービス業や製造業などで活躍する人材育成に力を入れています。

議論から広がる研究の幅

私は37年間、本学で教員として勤めており、学生には立命館の歴史について話すこともあります。時代ごとの危機に直面する中で、それを乗り越え、発展している本学は、私のゼミでは格好の題材です。企業の生き残りにもやはり革新が重要です。現状維持の発想では、維持すらできなんでしょう。世界的にみても設立時からずっと同じ業種だけで成り立っている企業がほとんどみられないことから分かるように、時代の流れに応じた斬新な対応が必要なのです。

私のゼミでは、産業政策や技術政策などの制度のあり方、観光やレジャー、教育、医療・福祉、情報といった様々なサービス産業について、さらにサービス化と雇用問題など、サービス経済に関連する問題について、ゼミ生が自由に研究しています。フィールドワークも盛んで、比較的身近な問題を扱うため、研究意欲にもつながっていると思います。

Profile

山田 彌 (やまだ ひろし)

経済学部教授

1967年神戸商科大学商経学部管理科学科卒業。1972年神戸大学大学院経済学研究科経済学博士課程修了。研究分野は経済統計学、計量経済モデル分析、産業連関分析、労働生産性、産業連関モデル、大学、地域、産業連関、近畿圏、計量モデル、国際リンク。環太平洋産業連関分析学会、日本経済学会に所属。1993年～3年間、本学経済学部長を務める。生活信条は「縁を大切に」。



「サービス経済」について多種多様に研究

山田ゼミでは28人のゼミ生が「サービス経済の研究」をテーマに研究している。このゼミはサービスに関連する広範囲のテーマ設定が可能で、ゼミ生が取り組む研究は多岐に亘る。5月の3回生のゼミでは数人が自分の研究テーマを発表し、それを受けて山田教授やゼミ生同士の質疑応答が繰り広げるといった流れで行われていた。積極的な意見交換とまではいかなかったが、それぞれが持つ意見や疑問について真剣に投げ掛けているのが印象的だ。そして、発表者が進める研究内容について、山田教授が細部に至るまで厳しく指摘しており、これがゼミ生のモチベーションアップにもつながっている。さらに、各自の研究は12月に行われる経済学部のゼミナール大会でも発表する予定で、それも刺激になっている。

ゼミ生が「アットホーム」と口を揃えるその雰囲気は、縁を大切にしている山田教授の人柄が築いた。また、教授の趣味は「研究室で学生と駄弁(だべ)ること」で、ゼミ生が頻りに人生相談にも訪れているという。

ゼミ生が「アットホーム」と口を揃えるその雰囲気は、縁を大切にしている山田教授の人柄が築いた。また、教授の趣味は「研究室で学生と駄弁(だべ)ること」で、ゼミ生が頻りに人生相談にも訪れているという。



Schedule <予定>

- 3回生
- 2010.4 3回生論文のテーマ選定と発表、および作成
- 2010.7 中間発表
- ゼミ合宿
- 2010.12 論文完成
- ゼミナール大会
- 2011.1 論文発表

Student's Voice

ゼミ大会に向けて日々研究

経済学部3回生
辻和也さん



山田ゼミでは「サービス経済」について幅広い観点から研究しています。山田教授のその話しやすい人柄もあってか、ゼミの雰囲気はとても良く、ゼミ生もほとんど休むことはありません。全員がゼミナール大会で良い成績を残せるよう研究に励み、勉強と遊びのメリハリはつけていきたいと思っています。

SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

陸上競技部

第17回世界大学クロスカントリー選手権大会で竹中理沙さんが4位入賞

(4月13日 カナダ・オンタリオ州キングストン)

第17回世界大学クロスカントリー選手権大会において、女子の部(5キロ)は、女子陸上競技部の竹中理沙さん(経営3)が4位、田中華絵さん(経済3)が13位となった。

織田幹雄記念国際陸上競技大会

男子100m決勝で小谷優介さんが2位入賞

(4月29日 広島広域公園陸上競技場)

日本グランプリシリーズ第3戦となる織田幹雄記念国際陸上競技大会(兼第16回アジア競技大会代表選手選考競技会)において、男子陸上競技部の小谷優介さん(経済3)が男子100m決勝で2位入賞を果たした。

決勝では2009年のベルリン世界陸上代表選手ら日本のトップ選手を抑え準優勝に輝いた。



関西学生陸上競技対校選手権大会

男子陸上競技部が連覇達成! 女子陸上競技部が初優勝!

(5月6日~21日 西京極総合運動公園陸上競技場、長居第二陸上競技場)

5月6日、14、15日、20、21日の5日間にわたって開催された第87回関西学生陸上競技対校選手権大会で、男子陸上競技部が2年連続の総合優勝を果たした。

また、女子陸上競技部は初の総合優勝を達成した。

主な成績

- ▶男子100m
優勝 小谷優介(経済3)

- ▶男子200m
優勝 堀江新太郎(経済2)
- ▶男子1500m
優勝 今崎俊樹(経営2)
- ▶女子1500m
優勝 藪下明音(経営1)
- ▶男子5000m
優勝 今崎俊樹(経営2)
- ▶女子10000m
優勝 岩川真知子(経営3)
- ▶女子5000m競歩
優勝 前田浩唯(経済1)
- ▶男子ハーフマラソン
優勝 尾崎文彦(経営2)
- ▶男子走高跳
優勝 佐々木竜一(スポーツ健康科学研究科1)
- ▶女子走幅跳
優勝 梶木千妃呂(経済2)
- ▶男子4×400mリレー
優勝 後藤慶行(生命科学3)
前田崇瑛(理工4)
前田盛翔(スポーツ健康科学1)
小野利明(経済4)
- ▶男子円盤投
優勝 馬場祐斗(経済2)



重量学部

全日本学生ウエイトリフティング選抜大会 女子53Kg級で鎔谷綾子さんが優勝

(4月25日 さいたま市記念総合体育館)

第7回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会の女子53kg級において、体育会重量学部の鎔谷綾子さん(産社4)がトータル164キロで優勝した。

全日本女子学生選手権大会 63kg級で木下ちひろさんが優勝

(5月14日~16日 羽曳野市羽曳野コロッセウム)

第22回全日本女子学生選手権大会の女子63kg級において、木下ちひろさん(産社3)がトータル175キロで優勝した。

水泳部(シンクロ)

日本選手権で小林・乾ペアがデュエットで優勝、ジャパンオープン2010において日本勢最高の3位

(5月5日 東京辰巳国際水泳場)

第86回日本選手権水泳競技大会シンクロナイズドスイミング競技 日本選手権兼ジャパンオープン2010の決勝が行われ、小林千紗さん(校友・2010年経済卒)、松本千尋さん(経営4)、上南侑生さん(経済3)、乾友紀子さん(経営2)が出場した。

日本選手権では、デュエットにおいて、小林・乾ペアがテクニカルルーティン・フリールーティンで優勝。チーム(8人での演技)においても優勝に輝いた。また、ソロでも乾さんが2位に入賞した。

海外選手も含めたジャパンオープンでは、デュエットで3位、チームで3位、乾さんがソロで4位となり、デュエットとチームでは日本勢トップの結果を残した。

この結果を受け、9月のワールドカップ、11月のアジア大会のデュエット日本代表に小林・乾ペアが決定した。



柔道部

柔道部女子、関西学生女子柔道優勝大会において3連覇達成

(5月23日 尼崎市記念公園総合体育館)

第18回関西学生女子柔道優勝大会において、柔道部女子が見事優勝し、3連覇を成し遂げた。女子5人制での3連覇は初の快挙となる。



本大会は全日本女子柔道優勝大会の予選も兼ねており、柔道部女子は6月26日(土)開催の全国大会に出場した。

硬式野球部

春季立同戦 惜しくも勝点ならず

(5月25日、26日 わかさスタジアム京都)

関西学生野球六大学リーグの伝統の一戦、立同戦が行われた。立命館大学は最後まで粘りを見せたが、第1戦は0-8、第2戦は惜しくも0-2で敗戦した。

試合後の閉会式で金子侑司さん(産社4)がベストナインに選ばれた。



CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先: 学生オフィス
075-465-8167

バトントワリング部

全日本バトントワリング選手権大会で グランプリ獲得、世界大会に出場決定!

(3月20日~22日 広島県立総合体育館)

第35回全日本バトントワリング選手権大会のフリースタイルチームの部で、バトントワリング部の立命館バトンチームが優勝した。

本大会は、8月にノルウェーのベルゲンで行われる第30回世界バトントワリング選手権大会の選考も兼ねており、この結果を受け立命館バトンチームの出場が決定した。

また個人でも、スリーバトン部門で渡辺翔史さん(文4:当時)がグランプリを獲得した。



写真部

仁和寺の四季を写真部が記録

(4月21日 仁和寺)

世界遺産・仁和寺の四季折々の表情をカメラに収める活動を写真部が始めた。仁和寺には、出版社や旅行会社から写真の貸し出し依頼が頻繁にあり、学生に寺の歴史を学びながら腕を磨く機会を提供しようと、寺から呼び掛けがあった。

初日の4月21日には、部員5人が参加した。この日は宗祖・弘法大使の月命日の法要「御影供」があり、法衣姿の僧侶が寺内を歩く姿を撮影した。



将棋研究会

第39回全国支部将棋名人戦にて優勝

(5月2日 東京将棋会館)

第39回全国支部将棋名人戦の東西決戦が開催され、西地区代表で出場した将棋研究会の横山大樹さん(産社2)が初優勝を飾った。

横山さんは今年度内に開催されるアマチュア名人戦の全国大会に招待される。



かるた会

小倉百人一首団体対抗 かるた選手権大会において優勝

(5月9日 福岡県柳井神社)

第45回西日本新聞社杯小倉百人一首団体対抗かるた選手権大会のA級において、かるた会Aチームが優勝を果たした。全6チームがリーグ戦を



行い、決勝戦では広島県かるた協会と対戦。4勝1敗で勝利を収め、優勝に輝いた。

CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先: 学生オフィス
075-465-8167

第42回草津宿場まつり 立命館大学課外活動団体が多数参加

(4月24日、25日 JR草津駅周辺)

このイベントは、毎年、草津地域の方々によって開催されるもので、東海道と中山道が出会う旧草津宿の歴史や伝統を身近に感じ、楽しむことができる草津市の春の風物詩としても知られている。当日は晴天にも恵まれ、7万人を超える多くの観客で賑わった。

街道では、多彩なパフォーマンスが行われ、立命館大学からも11の課外活動団体、100名を超える学生が参加した。



びわこ・くさつキャンパス(BKC)で 「新歓祭典」を開催!!

(4月25日 びわこ・くさつキャンパス)

今年のテーマは「新歓祭典~君が動くと祭が動く~」。このテーマには、新歓祭典を通して新入生に主体的な姿勢を持ってもらいたいという願いが込められている。

当日は天候にも恵まれ、例年よりも多くの来場者で賑わった。キャンパス内には、新入生による模擬店が出されたほか、各ステージ上では、観客を巻き込んだエネルギーあふれるパフォーマンスが繰り広げられた。



学生の活躍

政策科学部生が外国人向けガイドブック「日本酒のふるさと、伏見を楽しもう」を発行

政策科学部2回生の英語学習ゼミ(担当教員: 田林葉教授)の学生11人が、外国人観光客向けの英語の情報冊子Enjoy Fushimi, Home of Sake Breweries(日本酒のふるさと、伏見を楽しもう)を発行しました。

学生たちが外国人観光客へのヒアリング調査を実施した結果、外国人が伏見の歴史や酒文化について高い興味を持つことを発見。また、文献調査により伏見に関する英語での観光文献が少ないことを確認し、当ガイドブックを企画しました。

誌面では伏見の名所、酒造りの文化、日本酒の特徴に加え、伏見酒造組合の協力も得て伏見の名酒が紹介されています。同内容はWebサイト(<http://decodingkyoto.policy-science.jp/fushimi/>)でも閲覧でき、冊子のPDF版もダウンロードできます。

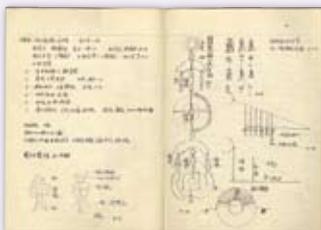


Column

立命館創始140年・学園創立110周年・APU開学10周年記念「白川静生誕100周年 白川静文庫開設記念展オープニングセレモニー」を開催

5月10日(月)、衣笠キャンパス図書館において、白川静文庫開設記念展オープニングセレモニーを開催しました。

「白川静文庫」は、故・白川静名誉教授生誕100年を記念して開設したものです。同文庫には、蔵書や直筆原稿など約1万8千点が収められており、漢字文化の成立と歴史を踏まえ用法を解説した『字通』の原稿や古代中国で甲骨や獣骨に書かれた甲骨文字を写し取ったトレース紙などの資料も含まれています。



閲覧できる白川先生の直筆ノート

手稿を除いては、すべての資料のデータ検索が可能であり、校友の皆様は手続きのうえ図書館内で閲覧できます。

産業社会学部学生が 御室エリア「多言語観光ぐるっとマップ」を発行



産業社会学部・小澤亘ゼミに所属する「外国人観光プロジェクト」チームの学生6名が御室エリア「多言語観光ぐるっとマップ」を発行しました。

京都市観光局や国土交通省などの調査によると、京都への外国人観光客の数が今後、急増することが予想されています。一方で、そのニーズに応える情報の提供が十分でない現状に問題意識をもち、活動が始まりました。今後、他エリアのマップも制作していく予定です。

大学と地域の連携による新しい外国人観光のあり方を目指して、京都市内においてマップの無料配布を行っています。

■ 配布場所

嵐山電鉄「四条大宮」駅、仁和寺・妙心寺内
※発行部数には限りがございます。

映画「京都太秦物語」が公開

5月22日(土)、MOVIX京都で映画「京都太秦物語」が公開されました。この映画は映像学部客員教授の山田洋次監督が映像学部の学生22名とともに2年の歳月をかけて作り上げたもので、大映通り商店街(京都太秦)の人々も出演しています。第60回ベルリン国際映画祭や第34回香港国際映画祭にも出品されました。公開当日、山田洋次監督と共に監督を務めた阿部勉さん、主演の海老瀬はなさん、映像学部生3名が舞台挨拶を行いました。



阿部監督、海老瀬はなさんと映像学部学生

アオバナのレシピ開発に向けて 学生が苗植を実施

4月30日(金)、草津市の花で特産のアオバナを使った菓子のレシピ開発に取り組もうと、菓子作りサークル「SWEET BOYS(スイート・ボーイズ)」の学生らが、草津市穴村町の畑でアオバナの苗植を行いました。

レシピ開発には約30人の学生が取り組んで

『白川静読本』を刊行

日本を代表する47人が白川先生の魅力と魔力を解明する一生誕100年を記念する画期的な入門書です。五木寛之・松岡正剛の巻頭対談に続き、石川九楊、石牟礼道子、内田樹、梅原猛、押井守、加地伸行、立花隆、町田康、宮城谷昌光等がエッセイ、論考を寄せています。「白川静という人」「白川学の広がり」「著作をどう読むか」の三部構成で、年譜、著作目録を付しています。平凡社編『白川静読本』(2010年3月、平凡社刊。定価・税込み1470円)



イバシーへ配慮していることも大きな特徴です。今後この技術を使って、目的地への単純なナビゲーションの他、車椅子利用者や外国人向けのサービス、「セカイカメラ」のエアタグのような情報提供などが可能になります。サイトURL <http://umechika.ubi.cs.ritsumei.ac.jp/>



撮影した風景画像



通行人の姿を消去した風景画像

学園の取り組み

立命館中学校・高等学校 長岡京市への移転を決定

小学校から大学までの一貫教育の新たな展開を進めるために、立命館中学校・高等学校を、2013年9月を目処に現在の京都市伏見区から長岡京市へ移転することを決定しました。

今年、創立105年を迎える立命館中学校・高等学校は「サイエンス教育」「国際教育」をキーワードに特徴的なプログラムを展開しており、同時に、生徒の自主的活動を柱にした豊かな人間性を育む教育を重視しています。2010年4月には、2006年に開校した立命館小

学校の一期生が立命館中学校に入学し、小学校教育との接続による12年間の一貫教育モデルづくりも新たな段階を迎えました。

今回のキャンパス移転は、各コースでのきめ細やかな教育に対応するための最先端の教育環境の整備や教室数の確保を実現する立命館一貫教育における大きな意味を持つ事業となります。



金融経済教育プログラム・授業教材の発行および教材支援サイトを開設

立命館大学と野村證券株式会社、「『高等学校における金融・ファイナンス教育開発プロジェクト』の推進に関する協定」を2007年5月に締結し、連携した取り組みを行ってきました。

この取り組みの成果として「サブテキスト：身の回りから考える金融経済とキャリア・デザイン」、「授業計画案・ワークシート」を発行しました。高等学校の教育現場における社会科や家庭科、またキャリア教育を担当する先生方を主な対象にした、金融経済教育の教材となっています。同時に、金融経済教育プログラムの教材支援サイトも開設いたしました。教材は立命館大学のホームページよりダウン



ロードできます (<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/manabi-station/r-n-pj/index.html>).

第3回 Rマークプロモーションコンテスト プレゼンテーション大会を実施

6月7日(月)衣笠キャンパスにおいて、Rマークプロモーションコンテストのプレゼンテーション大会を開催しました。

3回目となる今回は、学園に関わる人すべてにRマークを通じて立命館の一員として愛着をもってもらうことを目的にコンテストを実施しました。募集部門は「プロモーション部門」と共に、「Tシャツ部門」を新設。2010年3月から5月にかけてプランを募集し、全体で414件の応募がありました。

プレゼンテーション大会ではプロモーション部門の最終選考、表彰とTシャツ部門の表彰を実施。学生、生徒がプランの発表を行い、「プロモーション部門」では「生命科学部応用化学科MCクラス」の「Ribbon」が最優秀賞を受賞。「Tシャツ部門」では、「Rainbowの愉快的仲間たち」がデザインしたTシャツが最優秀賞に選ばれました。

大会には、学生、生徒、児童、父母・校友、教職員など約100名が参加しました。



立命館グッズ 販売中

立命館グッズを販売しています。インターネット、電話、FAXでもお求め頂けます。グッズを3000円以上お買い上げの方には、R RITSUMEIKAN ロゴ入り不織布バッグをプレゼントしています!

皆様も是非ともご利用下さい。

※キャンペーンはロゴ入り不織布バッグがなくなり次第、終了いたします。



宇治茶・濃茶水晶飴詰め合わせ



ブックマーカー



ミニ重箱

● インターネットでのご注文

次のアドレスにアクセスください。

<http://www.ritsumei-shop.com/>

● FAXでのご注文

次の事項をご記載のうえ、FAXでご注文ください。

必要事項：お名前、ご住所、電話番号、FAX番号、

希望お支払い方法

商品情報：希望商品名(色・サイズ)、単価、個数

FAX：075-463-9045

● 電話でのご注文

下記までご連絡ください。

(株)クレオテック リベルテ

TEL：075-463-9740

います。アオバナを使った新商品の開発を模索している「草津あおばな会」が新商品開発のため立命館大学に相談。びわこ・くさつキャンパス(BKC)で唯一菓子作り活動をしている同サークルに声をかけ、レシピの開発を始めることになりました。

アオバナは6月下旬ごろに青色の花を咲かせます。花の収穫後、サークル内で試作品を出し合っ、コンテストを行います。新たなレシピは11月の学園祭で披露する予定です。

「キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会」にて、経営学部学生チームが審査委員会特別賞を受賞

3月30日(水)、東京・飯田橋にて「第6回キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)全国大会」が行われました。

CVGは、全国8エリアで実施された各エリア大会のグランプリ・準グランプリの受賞者が集まり、それぞれのビジネスプランを競いあう大会です。

今回の大会では、垣内俊哉さん(経営2)、民野剛郎さん(経営2)、城村伊織さん(経営2)の経営学部学生チーム(※アントレプレナー教育プログラム受講生)が「らくらく大学ナビ-自宅で手軽にオープンキャンパス-」というビジネスプランを発表。バリアフリー情報を加えた大学ごとのマップを作成。大学の障害者支援体制やバリアフリーに関するランク付けを行い、ウェブでも公開するというプランで、審査委員会特別賞を受賞しました。

※アントレプレナー教育プログラムとは

自立的かつ創造的で起業家精神(アントレプレナーシップ)に満ちた人材の輩出を目的とした経済・経営・理工・情報理工の4学部共通プログラムであり、講師派遣やインターンシップの受け入れなど協力企業の支援のもとで展開しています。



※学生の回生は2009年度当時

川口有美子さんが第41回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞

第41回大宅壮一ノンフィクション賞の選考会が4月5日(月)に行われ、川口有美子さん(先端総合学術研究科)の「逝かない身体」が受賞作に選ばれました。

作品では、全身が動かなくなっていく神経難病、筋萎縮性側索硬化症(ALS)を発病した母と、人工呼吸器を装着して在宅生活する日々が綴られています。

川口さんは2004年4月にALSなどの難病支援に関する研究を志し、本学大学院の先端総合学術研究科に入学しました(現在も在籍)。その後も、国際的なALS支援ネットワークの構築などに携わっています。

教育・研究の成果

今中忠行・総合理工学院生命科学部生物工学科教授が「紫綬褒章」を受賞

今中忠行・総合理工学院生命科学部教授は、「微生物工学」の研究成果が評価され、「紫綬褒章」を受賞しました。

微生物工学の分野において、独自のアイデアでタンパク質安定化の新しい原理を発見



するとともに、超好熱始原菌が有する多数の新規酵素・代謝経路を解明するなど先駆的な業績をあげられました。また超好熱始原菌と菌由来酵素の有用性を見出し、極限環境微生物学の進展と応用に多大な貢献をされています。

今中教授は、「今回の受章は、永年にわたり協力して頂いた多くの方々のお陰であると思い、心からお礼を申し上げます。これからも新たな気持ちでもう一つ新



紫綬褒章授与式にて今中教授とご夫人

しい領域を開拓したいと考えています。また若い研究者のために少しでもお役に立ちたいとの思いを強くしています」と力強く話しています。

民秋均教授・溝口正准教授の研究グループが参加した共同研究の成果が英科学誌ネイチャーに掲載

民秋均・総合理工学院薬学部教授、溝口正・総合理工学院生命科学部准教授の研究グループが参加した共同研究の成果が4月19日付けで英科学誌ネイチャー(オンライン版)に掲載されました。

この研究は名古屋大学大学院生命農学研究科の野亦次郎研究員と藤田祐一准教授の研究グループと大阪大学蛋白質研究所の村木則文研究員と栗栖源嗣教授の研究グループが中心となり、立命館大学の研究グループと共同で、葉緑素が作られる最終段階、葉緑素が緑色になるための反応の仕組みを明らかにしたものです。民秋均教授・溝口正准教授の研究グループは「葉緑素(クロロフィル)の分子科学」の領域で研究成果に貢献しました。



民秋均教授



溝口正准教授

通行人の姿を自動消去する画像処理技術を地下街ストリートビューに—商業施設の宣伝に活用できる新技術—

西尾信彦(情報理工学部教授)研究室が奈良先端科学技術大学院大学の横矢直和(情報科学研究科教授)研究室とともに、「地下街パノラマビュー」を開発しました。現在Webサイトで公開しており、技術を体験できます。4月から独自の小型撮影装置で、大阪・梅田周辺地下街の全長約6.5kmを撮影。GPSの使えない地下での同様の取り組みは世界でも例が無く、特殊な技術で歩行者の姿を消し、プラ

イバシーへ配慮していることも大きな特徴です。今後この技術を使って、目的地への単純なナビゲーションの他、車椅子利用者や外国人向けのサービス、「セカイカメラ」のエアタグのような情報提供などが可能になります。サイトURL <http://umechika.ubi.cs.ritsumei.ac.jp/>



撮影した風景画像



通行人の姿を消去した風景画像

学園の取り組み

立命館中学校・高等学校 長岡京市への移転を決定

小学校から大学までの一貫教育の新たな展開を進めるために、立命館中学校・高等学校を、2013年9月を目処に現在の京都市伏見区から長岡京市へ移転することを決定しました。

今年、創立105年を迎える立命館中学校・高等学校は「サイエンス教育」「国際教育」をキーワードに特徴的なプログラムを展開しており、同時に、生徒の自主的活動を柱にした豊かな人間性を育む教育を重視しています。2010年4月には、2006年に開校した立命館小

学校の一期生が立命館中学校に入学し、小学校教育との接続による12年間の一貫教育モデルづくりも新たな段階を迎えました。

今回のキャンパス移転は、各コースでのきめ細やかな教育に対応するための最先端の教育環境の整備や教室数の確保を実現する立命館一貫教育における大きな意味を持つ事業となります。



金融経済教育プログラム・授業教材の発行および教材支援サイトを開設

立命館大学と野村證券株式会社、「『高等学校における金融・ファイナンス教育開発プロジェクト』の推進に関する協定」を2007年5月に締結し、連携した取り組みを行ってきました。

この取り組みの成果として「サブテキスト：身の回りから考える金融経済とキャリア・デザイン」、「授業計画案・ワークシート」を発行しました。高等学校の教育現場における社会科や家庭科、またキャリア教育を担当する先生方を主な対象にした、金融経済教育の教材となっています。同時に、金融経済教育プログラムの教材支援サイトも開設いたしました。教材は立命館大学のホームページよりダウン



ロードできます (<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/manabi-station/r-n-pj/index.html>)。

第3回 Rマークプロモーションコンテスト プレゼンテーション大会を実施

6月7日(月)衣笠キャンパスにおいて、Rマークプロモーションコンテストのプレゼンテーション大会を開催しました。

3回目となる今回は、学園に関わる人すべてにRマークを通じて立命館の一員として愛着をもってもらうことを目的にコンテストを実施しました。募集部門は「プロモーション部門」と共に、「Tシャツ部門」を新設。2010年3月から5月にかけてプランを募集し、全体で414件の応募がありました。

プレゼンテーション大会ではプロモーション部門の最終選考、表彰とTシャツ部門の表彰を実施。学生、生徒がプランの発表を行い、「プロモーション部門」では「生命科学部応用化学科MCクラス」の「Ribbon」が最優秀賞を受賞。「Tシャツ部門」では、「Rainbowの愉快的仲間たち」がデザインしたTシャツが最優秀賞に選ばれました。

大会には、学生、生徒、児童、父母・校友、教職員など約100名が参加しました。



立命館グッズ 販売中

立命館グッズを販売しています。インターネット、電話、FAXでもお求め頂けます。グッズを3000円以上お買い上げの方には、R RITSUMEIKAN ロゴ入り不織布バッグをプレゼントしています!

皆様も是非ともご利用下さい。

※キャンペーンはロゴ入り不織布バッグがなくなり次第、終了いたします。



宇治茶・濃茶水晶飴詰め合わせ



ブックマーカー



ミニ重箱

● インターネットでのご注文

次のアドレスにアクセスください。

<http://www.ritsumei-shop.com/>

● FAXでのご注文

次の事項をご記載のうえ、FAXでご注文ください。

必要事項：お名前、ご住所、電話番号、FAX番号、

希望お支払い方法

商品情報：希望商品名(色・サイズ)、単価、個数

FAX：075-463-9045

● 電話でのご注文

下記までご連絡ください。

(株)クレオテック リベルテ

TEL：075-463-9740

イバシーへ配慮していることも大きな特徴です。今後この技術を使って、目的地への単純なナビゲーションの他、車椅子利用者や外国人向けのサービス、「セカイカメラ」のエアタグのような情報提供などが可能になります。サイトURL <http://umechika.ubi.cs.ritsumei.ac.jp/>



撮影した風景画像



通行人の姿を消去した風景画像

学園の取り組み

立命館中学校・高等学校 長岡京市への移転を決定

小学校から大学までの一貫教育の新たな展開を進めるために、立命館中学校・高等学校を、2013年9月を目処に現在の京都市伏見区から長岡京市へ移転することを決定しました。

今年、創立105年を迎える立命館中学校・高等学校は「サイエンス教育」「国際教育」をキーワードに特徴的なプログラムを展開しており、同時に、生徒の自主的活動を柱にした豊かな人間性を育む教育を重視しています。2010年4月には、2006年に開校した立命館小

学校の一期生が立命館中学校に入学し、小学校教育との接続による12年間の一貫教育モデルづくりも新たな段階を迎えました。

今回のキャンパス移転は、各コースでのきめ細やかな教育に対応するための最先端の教育環境の整備や教室数の確保を実現する立命館一貫教育における大きな意味を持つ事業となります。



金融経済教育プログラム・授業教材の発行および教材支援サイトを開設

立命館大学と野村證券株式会社、「『高等学校における金融・ファイナンス教育開発プロジェクト』の推進に関する協定」を2007年5月に締結し、連携した取り組みを行ってきました。

この取り組みの成果として「サブテキスト：身の回りから考える金融経済とキャリア・デザイン」、「授業計画案・ワークシート」を発行しました。高等学校の教育現場における社会科や家庭科、またキャリア教育を担当する先生方を主な対象にした、金融経済教育の教材となっています。同時に、金融経済教育プログラムの教材支援サイトも開設いたしました。教材は立命館大学のホームページよりダウン



ロードできます (<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/cg/manabi-station/r-n-pj/index.html>)。

第3回 Rマークプロモーションコンテスト プレゼンテーション大会を実施

6月7日(月)衣笠キャンパスにおいて、Rマークプロモーションコンテストのプレゼンテーション大会を開催しました。

3回目となる今回は、学園に関わる人すべてにRマークを通じて立命館の一員として愛着をもってもらうことを目的にコンテストを実施しました。募集部門は「プロモーション部門」と共に、「Tシャツ部門」を新設。2010年3月から5月にかけてプランを募集し、全体で414件の応募がありました。

プレゼンテーション大会ではプロモーション部門の最終選考、表彰とTシャツ部門の表彰を実施。学生、生徒がプランの発表を行い、「プロモーション部門」では「生命科学部応用化学科MCクラス」の「Ribbon」が最優秀賞を受賞。「Tシャツ部門」では、「Rainbowの愉快的仲間たち」がデザインしたTシャツが最優秀賞に選ばれました。

大会には、学生、生徒、児童、父母・校友、教職員など約100名が参加しました。



立命館グッズ 販売中

立命館グッズを販売しています。インターネット、電話、FAXでもお求め頂けます。

グッズを3000円以上お買い上げの方には、R RITSUMEIKAN ロゴ入り不織布バッグをプレゼントしています!

皆様も是非ともご利用下さい。

※キャンペーンはロゴ入り不織布バッグがなくなり次第、終了いたします。



宇治茶・濃茶水晶飴詰め合わせ



ブックマーカー



ミニ重箱

● インターネットでのご注文

次のアドレスにアクセスください。

<http://www.ritsumei-shop.com/>

● FAXでのご注文

次の事項をご記載のうえ、FAXでご注文ください。

必要事項：お名前、ご住所、電話番号、FAX番号、希望お支払い方法

商品情報：希望商品名(色・サイズ)、単価、個数

FAX：075-463-9045

● 電話でのご注文

下記までご連絡ください。

(株)クレオテック リベルテ

TEL：075-463-9740

+R なる人

よく遊び、よく学べ。
UBCが人生最良の思い出です。



京都市 総合企画局 国際化推進室勤務

納谷由美子 さん（立命館高等学校・立命館大学法学部卒業）

「UBCの寮では、さまざまなことを学びました」。こう話すのは、京都市 総合企画局 国際化推進室に勤務する納谷由美子さん。男女共学後の立命館高等学校の2期生だ。

はじめての海外留学が高校時代。カナダ・ビクトリアでの3週間のホームステイだった。英会話に自信があったわけではなかったが、何とかかなると考え、気軽な気持ちでプログラムに参加した。しかし、全く聞けないし、話せなかった。通用しなかったという挫折感を感じた。



大学では授業とアルバイトを繰り返す日々。そんな中で「立命館大学・UBCジョイント・プログラム」を知った。高校時代の記憶がよみがえった。リベンジしたい。英会話スクールには通学していたが、それだけでは足りないと感じ、エクステンションセンターのTOEFL®講座にも通った。その成果もあって、3回生7月からのプロ

ラムに参加できることとなった。

UBCでの経験。それは「人生最良の思い出です。良く遊び、良く学べ。この言葉を体現しました」と語る。授業は宿題が多い。当然、授業、教科書や参考文献もすべて英語。とてもハードな日々だった。寮の部屋に集まって友人たちと議論しながら勉強した。クリスマス休みにはケベック、トロント、オタワ、モントリオールやニューヨークを旅行したりもした。このような生活によって、日常生活で英語に困ることはなくなっていたため、海外で働きたいと思うようになっていた。

就職はカナダで知った日本企業に決めた。海外勤務が必須の企業だった。シンガポールに配属され、現地で転職も経験。計4年間、シンガポールで勤務した。そのうち、日本・京都の歴史・伝統・文化の良さを改めて実感。現在は京都市で、世界86都市55カ国が加盟する「世界歴史都市連盟」の事務局をつとめている。

これからも語学力を生かせる職場を希望する納谷さん。世界を視野に入れつつも、地元・京都のために。爽やかな風吹く夕暮れのオフィス。素敵な笑顔で語ってもらった。



校友会・グループ インフォメーション

※(職)は職場電話番号

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
大阪校友会総会	7/2(金) 18:30	ザ・リッツカールトン大阪	大阪オフィス 06(6201)3610
神奈川県校友の集い(総会・懇親会)	7/3(土) 14:00	崎陽軒本店	長谷川貞栄 045(933)4662
徳島県校友会総会	7/3(土) 16:30	阿波観光ホテル	宮崎 房子 088(645)0897
岩手県校友会総会	7/3(土) 15:00	ホテル東日本	酒井 博忠 019(654)3893
八幡支部総会	7/4(日) 10:30	松花堂美術館別館2階	岡島 完治 075(983)3063
立命京滋観光の会総会	7/8(木) 18:30	美濃吉本店 竹茂楼	立命京滋観光の会事務局 (職)075(255)3224
滋賀県校友会総会	7/10(土) 11:00	ホテルポストンプラザ草津	高津 知仁 (職)077(521)2413
香川県校友会総会	7/10(土) 16:00	パールガーデンホテル	穴吹 学 087(862)3565
秋田県校友会総会	7/10(土) 14:00	秋田ビューホテル	兜森 勲夫 018(834)6871
奈良県校友会南和会総会	7/10(土) 10:00	榎原ロイヤルホテル	漆 正良 0744(23)9861
山口周南地区校友会総会	7/10(土) 18:00	レストランバー オーバ	小西ヨシ子 0833(41)0412
静岡県校友会総会 校友の集い	7/11(日) 13:00	ホテルクラウンパレス浜松	大石 育三 0545(63)8984
高知県校友会総会	7/17(土) 17:00	オリエントホテル高知	平井 雅章 088(893)3410
宮城県校友会総会	7/17(土) 17:30	仙台ガーデンパレス	柏原 晋 022(286)9928
上海校友会(今出川会)	7/24(土) 18:00	上海花園飯店「ホテルオークラ」	上海校友会事務局 (メール) shritsxiaoyouhui@hotmail.com
青森県校友会総会	7/24(土) 15:00	ウェディングプラザアラスカ	船水 重利 017(722)2926
岐阜県校友会総会	7/24(土) 16:00	グランヴェール岐山	房野麻紀子 (職)0584(74)3036
愛媛県校友会総会	7/24(土) 17:00	国際ホテル松山	石田 二郎 089(925)2547
立命館清和会総会	7/24(土) 16:00	ウェスティン都ホテル京都	立命館清和会事務局 075(645)1051
石川県校友会総会	7/25(日) 12:30	ANAクラウンプラザホテル金沢	木場 密雄 (職)076(238)4131
岡山県校友会総会	7/25(日) 17:00	アークホテル岡山	守屋 博司 (職)086(232)0945
法学部商法塩田ゼミOB会	8/7(土) 15:30	京都ホテルオークラ	川端 豊 077(587)1361
沖縄県校友会総会	8/7(土) 18:00	ホテルロイヤルオリオン	島袋 健 090(7587)0858
立命館学園会計人会第23回定期総会・研修会	8/21(土) 14:40	京都ホテルオークラ	村山 佳也 (職)075(841)6178
ALL立命館交流パーティー	8/28(土) 13:00	立命館慶祥中学校・高等学校芝生広場	立命館慶祥中学校・高等学校 011(381)8888
三木義一先生の遺曆をお祝いする会	8/28(土) 18:00	ウェスティン都ホテル京都	望月 爾 (職)075(466)3473
第2回薬師寺ゼミ同窓会「薬師寺先生遺曆お祝いパーティー」	9/11(土) 18:30	ホテルグランヴィア 京都	丸山加奈子 (職)075(465)7878(メール) marukana@st.ritsumei.ac.jp
6Lの会	9/18(土) 18:00	くに荘	杉本 裕好 075(551)5006
設立90周年記念兵庫県校友会総会「校友のつどい」	10/23(土) 11:00	神戸ポートピアホテル	岸本 真之 (職)078(222)7111
千葉県校友会総会 Rちば校友の集い	10/23(土) 13:00	船橋グランドホテル	山本 良夫 047(422)3270
鳥取県西部校友会総会	11/26(金) 18:30	米子全日空ホテル	大野木昭夫 (職)0859(32)3308

校友消息(判明分)

叙勲 2010年春

☐ 旭日重光章

家元丈夫氏(52法)
京都府議

☐ 瑞宝中綬章

中川博次氏
本学理工学部客員教授(京大名誉教授)

山本恒己氏(63法)

元大津地検検正

☐ 瑞宝小綬章

三宅照子氏(52文)
日本体育大名誉教授

辻 清治郎氏(53法)

元東北少年院長

中川晴晴氏(53経済)

元大阪府三島府民センター所長

辻 定夫氏(55法)

元京都区検副検事

西村 隆氏(63法)

元県商工労働部長

藤原八郎氏(69法)

元京都地裁刑事部首席書記官

☐ 旭日双光章

梶道男氏(62経済)

元下市町長

☐ 瑞宝双光章

橋本正夫氏(49専工)

元京都府立医科大附属病院事務部長

川上清一氏(57法)

元神戸地検検正捜査官

永友忠貴氏(64法)

元福井行政監察事務所長

☐ 旭日単光章

田中道和氏(55経済)

元舞鶴市選管委員長

☐ 瑞宝単光章

山本真一氏(62経済)

元内閣府事務官

危険業務従事者叙勲

2010年春

☐ 瑞宝双光章

南野征治氏(66文)

消防功労

浜田雄三氏(67法)

警察功労

☐ 瑞宝単光章

前田勝利氏(66法)

警察功労

前原 一氏(70法)

矯正業務功労

褒章 2010年春

☐ 黄綬褒章

川勝泰三氏(58法)

川勝書店代表者

小山喜三氏(59経済)

マルコウ不動産社長

松田 等氏(68経営)

松田瓦店主

上田行男氏(72経済)

郵便切手類販売者

☐ 紫綬褒章

今中忠行氏

本学生命科学部教授

☐ 藍綬褒章

中桐真彦氏(51専工)

教戒師

就任(内定含む)

高崎秀夫氏(67法)

京都銀行 頭取

石井 茂氏(69経済)

(学)大阪成蹊学園 理事長

室田明宏氏(70経営)

(株)MBEコンサルタンツ 代表取締役

澤村 諭氏(75理工)

ローム(株) 代表取締役社長

横田尚哉氏(87理工)

(株)ファンクショナル・アプローズ研究所 代表取締役社長

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただいております。

◆ 山田洋次氏(本学客員教授)他脚本

『京都太秦物語』
新日本出版社 * 1200円+税

◆ 西田彦一氏(54文)著

『入会林野と周辺社会』
ナカニシヤ出版 * 4500円+税

◆ 石井龍生氏(61法)著

『著名な十七人の文人俳句への招待』
五曜書房 * 1600円+税

◆ 西垣義明氏(65法)著

『楽しく生きるための知恵』
生活ジャーナル社 * 1429円+税

『偉人伝』

ユーフォーブックス * 1200円+税

◆ 尾関 章氏(69文)著

『両面の鬼神』
勉誠出版 * 2400円+税

◆ 川村匡由氏(69文)著

『施設マネジメント論
福祉サービスの組織と経営』
ミネルヴァ書房 * 2800円+税

◆ 小原輝三氏(70文)著

『写真集 向銭看時代 中国1988年~1997年』
文理閣 * 2800円+税

◆ 櫻原 勉氏(73理工)著

『こだわり鉄道つたい歩き』
* 非売品

◆ 渋谷眞砂子氏(78文)著

『はじまり 渋谷眞砂子詩集』
土曜美術社出版販売 * 1800円+税

◆ 杉浦 司氏(85法)著

『消費を見抜くマーケティング実践講座
データから仮説を導く4つの視点』
翔泳社 * 1800円+税

『ITマネジメント』

—モデリングと情報処理によるビジネス革新—
関西学院大学出版会 * 1900円+税

◆ 比田井美恵氏(88経営)著

『私が一番受けたいココロの授業』
『私が一番受けたいココロの授業 講演編』
ごま書房新社 * 952円+税(いずれも)

◆ 神田 剛氏(94法)他著

『わが家のミカタ』
岩波書店 * 2200円+税

◆ 花岡正樹氏(04国関)著

『定年進学のおすすめ』
花伝社 * 1500円+税



ホーム

カミングデー BKC特設ステージにおいて催された現役Jazzclub所属、RUSH (R.U. Swingin' Herd Jazz Ensemble)とOLD RUSH (OBのジャズオーケストラ)による、世代を超えたライブは軽音楽部史を彩る一頁でありました。現役Jazzclubは総勢200名近い部員が所属し、衣笠・BKCで一体となって積極的な活動を展開しております。Jazzclubの前身である軽音楽部は創部63年を誇りOBの数は1200名を超え、部の歴史は戦後の日本の軽音楽史そのものと言っても過言ではありません。創部期は終戦間もない時代、母校の姿はどの様なものであったか。

一方、本学の歴史を辿れば終戦以前の時代を知る校友も貴重な存在となってまいりました。私事で恐縮ですが、義父真下保太郎(昭和22年専・理卒)は齢86歳になり、大学時代の思い出として昭和19年入学式での創立者中川小十郎先生の新入生に対する貴重な祝辞を頂いた記憶が今も鮮明に残り、お姿は小柄な方だったと時々思い出を語っております。

(仲 治實)

「セカイ

カメラ」を開発した井口さんは、幼い頃から知らない人によく話しかけていたそうだ。人への好奇心が旺盛で、寂しそうにしている人を見ると放っておけなくて、どんな人か知りたくなる。その人の考えていることがマンガの吹き出しみたいに見えたらいいのと思っていたというが、それを「セカイカメラ」で実現させたわけだ。今はiPhoneだけど、メガネに組み込めたら面白いだろうなと楽しそうに話す。

「お互いに情報をオープンにすることによって接点を見出すことができる。そこに新しい絆、いわば『ご縁』を結べる」とアナログ的な言葉が飛び出す。

取材の後、井口さんは今の心境だといって高杉晋作の句を引いた。「おもしろき、こともなき世を、おもしろく、住みなすものは、心なりけり」。井口さんの心が世界に向かってどこまで大きく弾んでいくのか、とても楽しみだ。

(加藤美佐子)

先日、

高校時代の恩師が退職され、その退職祝賀会に出席いたしました。懐かしい顔ぶれと対面し、卒業後、約20年経ちますが、当時の光景が思い浮かべられるような懐かしい気持ちになりました。久しぶりに会う仲間はそれぞれの道で活躍し、世代を超えた先輩との話は、普段勤務先では話すことのない新鮮な話題で、非常に興味深く、学ばせて頂くことも多くあり、また、明日からの仕事への活力にもなりました。

そういえば、大学時代の仲間たちとはずいぶんど無沙汰になっています。大学卒業後は毎年のように京都で集合し、よく会っていたのですが、最近では会っていないことを思い出しました。ゼミやサークルで勉学に、スポーツにそして麻雀にともに楽しんだあのころが懐かしく思い出されます。大学時代の充実した日々は今も私にとっての大切な財産です。今年6月6日はホームカミングデー。久しぶりの先生、友人との語らいは何物にも代えがたいものです。当日は多くの校友の方々にお会いすることができ、楽しいひとときを過ごさせていただきました。

(森 力)

青丹

よし平城の地に都ができて1300年、普段は静かな奈良町も観光客で賑わっている。何世代にわたって守られてきた街並みや文化の中で積み重ねられた1300年という歴史の重みを感じようと沢山の人が奈良へ足を運ぶ。

一方、千古の緑の地、京都で生まれた我が母校立命館も学園創始140年、設立110周年という節目の年を迎える。母校の歴史も校友や関係者の皆さん一人ひとりがそれぞれの時代に様々な思いを持って立命館で過ごした歴史の積み重ねであり、その歴史に私もかかわった(…お世話になった)と思うととても嬉しい。

大学時代の友達と集まると、立命館での思い出話に花を咲かせ、それぞれの近況を聞き奮起させられる。過去の事で笑い、未来の事に対して刺激を受ける。立命館という場で得た経験と人間関係は今でも財産になっている。

立命館の歴史の中で育まれた様々な価値観や考え方を、世代を超えて知ってもらい新しい刺激にして頂きたい。そんなお手伝いが出来ればと思っています。

(意気洋洋)



りつめい No.241/2010年7月号

発行所/立命館大学校友会/年4回発行

発行人/山中 諄

編集人/中村和歳

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumei.jp>

E-mail : alumni@st.ritsumei.ac.jp